

ALPINE®

MDA-W892J / MDA-W891J

MD / インダッシュ CD チェンジャー / DSP ヘッドユニット MD / インダッシュ CD チェンジャー / ヘッドユニット

取扱説明書

検索には各ページ上部角のアイコンをお使いになると便利です。



安全にお使いいただくために 2



目次と基本操作 6



CD を聴く 15



MD を聴く 26



ラジオを聴く 33



イコライザー / サラウンドの操作 43/45



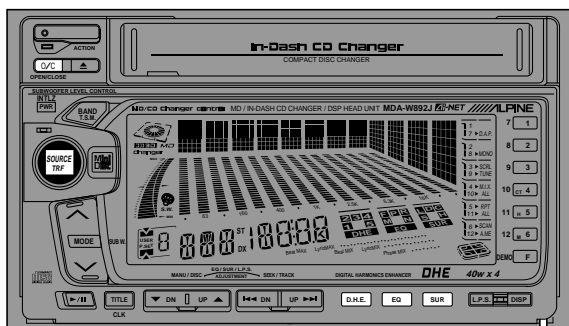
D.H.E. / L.P.S.の操作 47/48



便利な機能 50



リモコンで操作する 65



MDA-W892J

このたびは、お買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
お使いになる前に説明書をよくお読みのうえ、理解してからお使いください。
お読みになった後も、説明書を手元に置いてご使用ください。
本書の一部または全部を無断で転載しないでください。





安全にお使いいただくために、必ずお守りください

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。説明書の指示を守らなかった事による不具合に対して、当社は責任を負いかねます。








この取扱説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示の意味

 警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表示の例

	記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。		一般的な注意・警告を通告します。
	記号は禁止の行為であることを告げるものです。		一般的な禁止の通告をします。
	記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。		分解により傷害が発生する可能性がある場合の禁止の通告をします。
 Memo	この表示では、本機を操作するうえでの補足説明を示します。		

本機は国内専用です。規格の違う外国では使用できません。

本機のお手入れは、乾いた布が堅く絞った布で拭いてください。ベンジンやシンナー類は、ケースが変質 / 変形しますので絶対に使わないでください。

夏期など車内の温度が高いときは、車内の温度を下げてから使用してください。



警告

分解・改造をしない

分解や改造は、事故・火災・感電の原因になります。



小物類は幼児の手の届かないところに保管する
小物類<電池・ネジなど>は幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。



ヒューズ交換は容量を守る

ヒューズ交換は、必ず規定容量(アンペア数)を守ってください。規定容量以上を使用すると、火災の原因となります。



異常な状態になったら、直ちに使うのをやめる
音や画面が出ない・異物が入った・煙が出る・変な臭いがするなど異常が起きましたら、直ちに使用を中止し、必ず<お買い上げの販売店>にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。



運転中は操作をしない・表示を見ない

運転者は走行中に操作をしたり表示を見たりしないでください。走行中に操作をすると前方不注意となり事故の原因となります。必ず安全な場所に車を停車させてください。





安全にお使いいただくために、必ずお守りください

⚠️ 注意

音量を上げすぎない

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご利用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。



車以外に使わない

本機を車載用として以外は使用しないでください。感電やケガの原因となることがあります。



新旧の電池を混ぜない

極性を間違えないように挿入する

新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定していない電池を使用しないでください。また、挿入する際は極性 < + · - > に注意し指示通りに入れてください。電池の破裂、液漏れにより、火災やケガの原因となることがあります。



挿入口やすき間には異物を入れない

マガジンやディスクの挿入口に手や指、異物を入れないでください。ケガや故障の原因となることがあります。



運転の妨げになる操作は停車させてから行う

可動ディスプレイの開閉やディスクの出し入れ操作が運転(シフトレバー操作など)の妨げになる場合は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。





取り扱い上のご注意 (CD) 「ディスクの取り扱い」(68 ページ) も合わせてご覧ください。

コンパクトディスク (CD) の取り扱い

次の点を守ってお使いください。盤面にさわらない / 直射日光下に置かない / ラベルを貼ったり文字を書いたりしない / ホコリやごみが付いたら拭きとる。

結露にご注意

寒い車内を急に暖めると、信号読み取り装置のレンズに露が付き誤動作の原因になります。このようなときは、1 時間ほどディスクを取り出しておくと正常に動作します。

新品のディスクを聴くときは

ディスクの側面やセンターホール面に突起箇所 (バリ) があるとイジェクトされます。

このような場合は、ボールペンなどで外側の縁をなぞって突起箇所を取り除いてください。

音飛びについて

路面状況の悪いところを走行しているときに音飛びを起こすことがありますが、プレーヤーには影響ありません。

特殊な形状のディスクは使わない

必ず円形のものをお使いください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因になります。

取り扱い上のご注意 (MD) 「ミニディスクについて」(69 ページ) も合わせてご覧ください。

ミニディスク (MD) の取り扱い

次の点を守ってお使いください。シャッターを開けない / 内部にさわらない / 直射日光下に置かない / ラベルは正しい位置に一枚だけしっかり貼る / ホコリやごみが付いたら拭きとる。

結露にご注意

寒い車内を急に暖めると、信号読み取り装置のレンズに露が付き誤動作の原因になります。このようなときは、一時間ほどミニディスクを取り出しておくと正常に動作します。

音飛びについて

路面状況の悪いところを走行しているとき「音飛び」を起こすことがありますが、プレーヤーには影響ありません。

取り扱い上のご注意 (マガジン)

マガジンとは

複数のディスクを納めるためのプラスチックの箱です。非常にデリケートな部品ですのでディスク同様大切に扱ってください。

つぶれた状態で保管しない

つぶれた状態で保管するとディスクの出し入れが正しく行われず、動作不良や故障の原因になります。

やさしく扱う

本体への挿入や取り出しは「やさしく、静かに」行ってください。無理な力を加えるとメカニズムを壊し動作不良や故障の原因になります。

マガジンが動いているとき

マガジンが動いているとき (ディスク交換、イジェクトなど) は、本機に触れないでください。可動部に手が触れて故障やケガの原因になる事があります。

目次



安全にお使いいただくために

警告 / 注意	3
目次	6



基本操作

スイッチの名称	8
電源の ON/OFF	13
音量の調整	14



CD を聴く

マガジンの取り扱い	15
演奏する	16
曲の早送り / 早戻しをする	17
曲の頭出しをする (ミュージック・センサー) ...	17
曲の初め (イントロ) だけを聴く (スキャン) ...	18
繰り返し聴く (リピート演奏)	18
曲順を変えて聴く M.I.X. (ミュージック・イン・クロスプレイ)	19
CD にタイトルをつける TITLE ...	20
記憶したタイトル名を消す	22
記憶したタイトルで検索する	23
6 連奏 CD チェンジャーの操作	24
12 連奏 CD チェンジャーの操作 ...	25



MD を聴く

可動ディスプレイの開閉	26
演奏する	27
曲の頭出しをする (ミュージック・センサー) ...	28
曲の早送り / 早戻しをする	28
繰り返し聴く (リピート演奏)	29
曲順を変えて聴く M.I.X. (ミュージック・イン・クロスプレイ) ...	29
曲の初め (イントロ) だけを聴く (スキャン) ...	30
タイトル・スクロールの設定	30
タイトルを表示する / スクロールする ...	31
MD チェンジャーの操作	32



ラジオを聴く

周波数で放送局を選ぶ (マニュアル) ...	33
自動的に放送局を選ぶ SEEK	34
放送局を記憶する (プリセット・メモリー) ...	35
自動的に放送局を記憶する (オート・メモリー) ...	36
FM/AM 放送局を合わせて記憶する D.A.P. ...	37
記憶した放送局を受信する	38
道路交通情報を聴く TRF	39
放送局にタイトルをつける TITLE ...	40
記憶したタイトルで検索する	42



イコライザーの操作

イコライザー特性 (メーカー設定) を選ぶ ...	43
イコライザー (メーカー設定) パターンについて ...	43
自分でイコライザー・カーブを作る ...	44



サラウンドの操作 (MDA-W892Jのみ)

- サラウンド・モード(メーカー設定)を選ぶ ...45
- サラウンド・レベル/タイムの調整 ...46

DHE

D.H.E.の操作 (MDA-W892Jのみ)

- D.H.E.モードを選ぶ.....47



L.P.S.の操作 (MDA-W892Jのみ)

- リスニング・ポジションを合わせる
L.P.S.(リスニング・ポジション・セレクター)...48
- リスニング・ポジションの調整.....49



便利な機能

- カーブを記憶する50
- 記憶したカーブを呼び出す51
- 表示パターンを切りかえる52
- サウンドガイド機能53
- コントラスト調整54
- 外部割り込みモードのON/OFF ...55
- ダイバーシティの対応56
- デモンストレーション機能57
- 時刻を表示する58
- 時刻を設定する59
- サブウーハーレベルを調整する60

拡張ユニット(TV)をコントロールする

- TVをコントロールする61
- 放送局を選ぶ.....62
- チャンネルを記憶する63
- 記憶した放送局を呼び出す64
- 自動で放送局を記憶する64



リモコンで操作する

- 使用時のご注意65
- 基本操作/CD/MDを操作する66
- ラジオ/イコライザー/サラウンドを操作する ...67

その他

- ディスクの取り扱い68
- ミニディスクについて69
- 故障かな? と思ったら70
- 規格74
- 保証について75

**Memo****演奏する**

よく使う操作項目には「アイコン(絵表示)」がついています。アイコンは、各ページ上部の角にも載っていますので、検索するときにご利用してください。



スイッチの名称

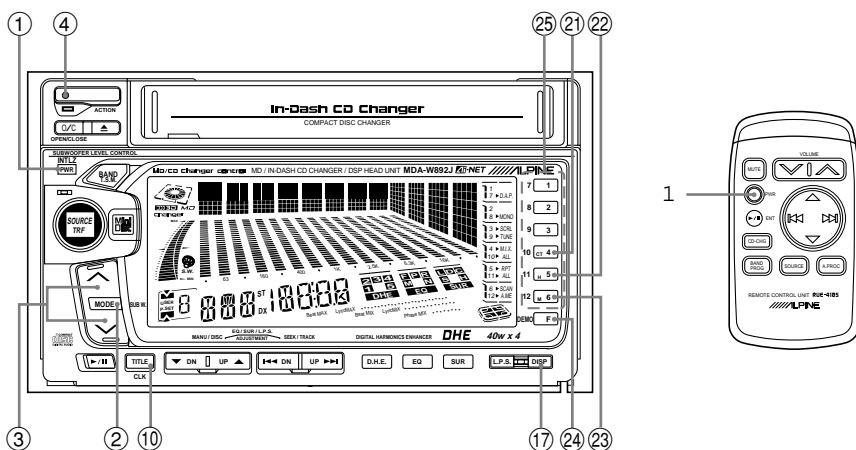
このページでは、ソースごとのスイッチの名称について説明しています。



基本操作 (P. 13 ~ P. 14)



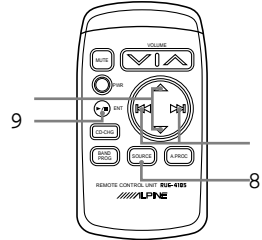
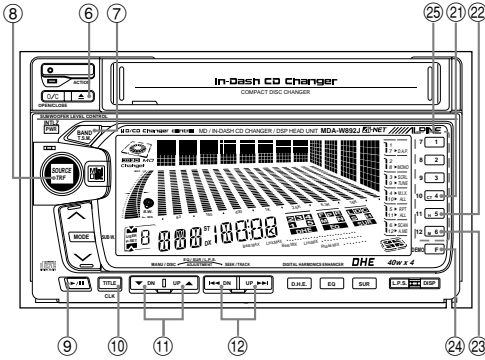
便利な機能 (P. 50 ~ P. 60)



	基本操作	便利な機能
1	電源スイッチ / イニシャライズスイッチ	
2	オーディオ・モード切りかえスイッチ	サブウーハー ON/OFF スイッチ
3	オーディオ・レベル切りかえスイッチ	
4	リセット・スイッチ	
10		時計表示スイッチ
17		ディスプレイ切りかえスイッチ
21		時報合わせスイッチ
22		時調整スイッチ
23		分調整スイッチ
24		デモンストレーション・スイッチ
25		メモリー・スイッチ



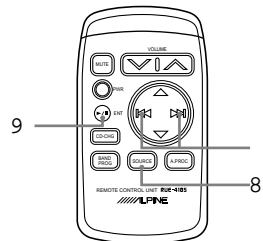
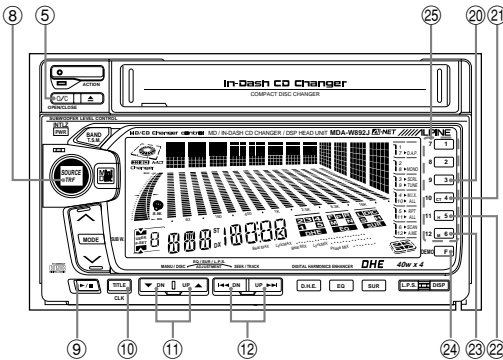
CD を聴く (P. 15 ~ P. 25)



6	イジェクト・スイッチ	12	早送り / 早戻しスイッチ
7	タイトル・サーチ・メニュー・スイッチ	21	ミュージック・イン・クロスプレイ・スイッチ
8	オーディオ・ソース選択スイッチ	22	リピート・スイッチ
9	プレイ / ポーズ・スイッチ	23	スキャン・スイッチ
10	タイトル・スイッチ	24	ファンクション・スイッチ
11	ディスク・セレクト・スイッチ	25	ディスク No. 選択スイッチ



MD を聴く (P. 26 ~ P. 32)



5	オープン / EJECT / ロード / クローズ・スイッチ	20	スクロール・スイッチ
8	オーディオ・ソース選択スイッチ	21	ミュージック・イン・クロスプレイ・スイッチ
9	プレイ / ポーズ・スイッチ	22	リピート・スイッチ
10	タイトル・スイッチ	23	スキャン・スイッチ
11	ディスク・セレクト・スイッチ	24	ファンクション・スイッチ
12	早送り / 早戻しスイッチ	25	ディスク No. 選択スイッチ

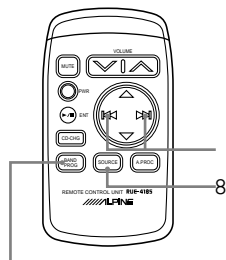
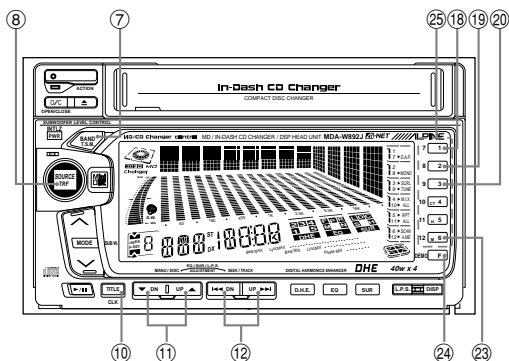
スイッチの名称とはたらき



スイッチの名称



ラジオを聴く (P. 33 ~ P. 42)



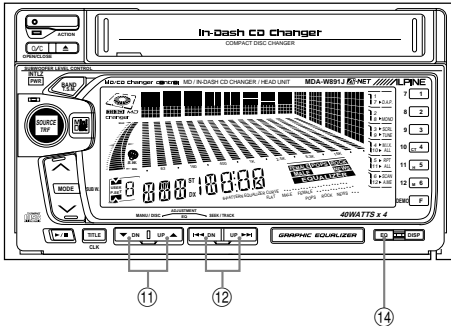
バンド切りかえスイッチ

7	バンド切りかえ/タイトル・サーチ・メニュー・スイッチ	18	D.A.P.スイッチ
8	オーディオ・ソース選択スイッチ	19	モノラルスイッチ
	トラフィック・インフォメーション・スイッチ	20	チューニング・モード切りかえスイッチ
10	タイトル・スイッチ	23	オートメモリー・スイッチ
11	チューニング・アップ/ダウン・スイッチ(マニュアル)	24	ファンクション・スイッチ
12	チューニング・アップ/ダウン・スイッチ(SEEK)	25	プリセット No. 選択スイッチ



イコライザーの操作

(P. 43 ~ P. 44)

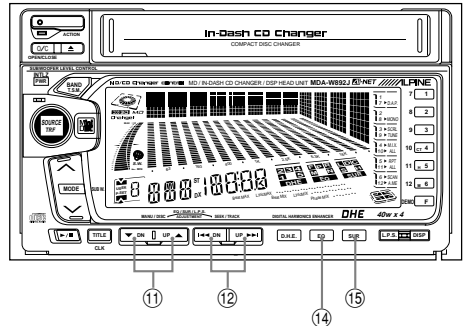


MDA-W891Jの場合



サラウンドの操作

(P. 45 ~ P. 46)(MDA-W892Jのみ)



MDA-W892Jの場合

11	レベル・アップ/ダウン調整スイッチ
12	周波数バンド・アップ/ダウン・スイッチ
14*	イコライザー・スイッチ

* モデルによりスイッチの位置が異なります。

11	レベル調整スイッチ
12	タイム(残響時間)調整スイッチ
15	サラウンド・スイッチ

スイッチの名称とはたらき



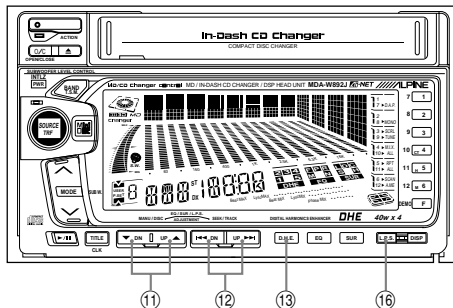
D.H.E.の操作 (P. 47)

(MDA-W892Jのみ)



L.P.S.の操作

(P. 48 ~ P. 49)(MDA-W892Jのみ)



13	D.H.E.スイッチ

11	ポジション調整スイッチ
12	ポジション調整スイッチ
16	L.P.S.スイッチ

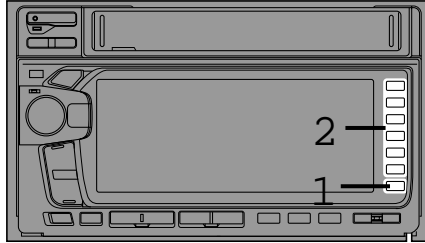


スイッチの名称

ファンクション・スイッチを覚えて、操作をマスターしよう。



ファンクション・スイッチの使いかた



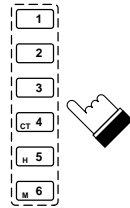
1

[F] (ファンクション・スイッチ) を押します。
押すごとにファンクション・モードが切りかわります。
(下記の表を参照してください。)



2

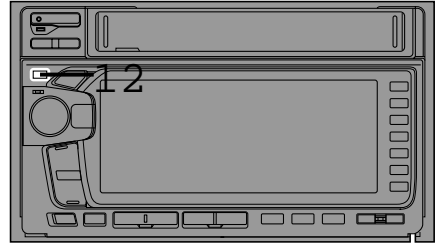
[1] ~ **[M 6]** のいずれかを押します。



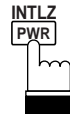
モード	ファンクション モード	[1]	[2]	[3]	[CT 4]	[M 5]	[M 6]
ラジオ	OFF	プリセット 1	プリセット 2	プリセット 3	プリセット 4	プリセット 5	プリセット 6
	ON	D.A.P. <small>(ダイレクト・アクセスメモリー・プリセット)</small>	MONO <small>(ステレオ/モノラル)</small>	TUNE <small>(DX/ローカル)</small>			A.ME <small>(オートメモリー)</small>
3D		ディスクセレクト 1	ディスクセレクト 2	ディスクセレクト 3	M.I.X. <small>(ミュージック・イン・クロスプレイ)</small>	RPT <small>(リピート)</small>	SCAN <small>(スキャン)</small>
MD				SCROLL	M.I.X. <small>(ミュージック・イン・クロスプレイ)</small>	RPT <small>(リピート)</small>	SCAN <small>(スキャン)</small>
6CD チェンジャー	OFF	ディスクセレクト 1	ディスクセレクト 2	ディスクセレクト 3	ディスクセレクト 4	ディスクセレクト 5	ディスクセレクト 6
	ON				M.I.X. <small>(ミュージック・イン・クロスプレイ)</small>	RPT <small>(リピート)</small>	SCAN <small>(スキャン)</small>
12CD チェンジャー	OFF	ディスクセレクト 1	ディスクセレクト 2	ディスクセレクト 3	ディスクセレクト 4	ディスクセレクト 5	ディスクセレクト 6
	ON 1	ディスクセレクト 7	ディスクセレクト 8	ディスクセレクト 9	ディスクセレクト 10	ディスクセレクト 11	ディスクセレクト 12
	ON 2				M.I.X. <small>(ミュージック・イン・クロスプレイ)</small>	RPT <small>(リピート)</small>	SCAN <small>(スキャン)</small>
MD チェンジャー	OFF	ディスクセレクト 1	ディスクセレクト 2	ディスクセレクト 3	ディスクセレクト 4	ディスクセレクト 5	ディスクセレクト 6
	ON			SCROLL	M.I.X. <small>(ミュージック・イン・クロスプレイ)</small>	RPT <small>(リピート)</small>	SCAN <small>(スキャン)</small>
TV	OFF	プリセット 1	プリセット 2	プリセット 3	プリセット 4	プリセット 5	プリセット 6
	ON						A.ME <small>(オートメモリー)</small>



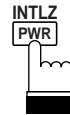
電源の ON/OFF



- 1** PWR (パワー) スイッチを押します。



- 2** 電源を切るときは、再度 PWR スイッチを押します。



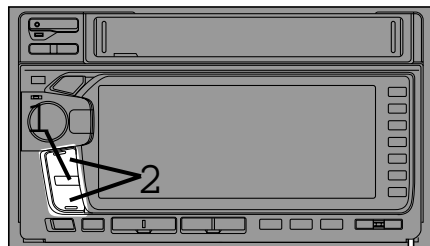
リセットしましょう

初めて使う、CD チェンジャー等を取り付けた、バッテリーを交換したときは、「リセット・スイッチ」を押してください。(リセット・スイッチの位置は、スイッチの名称参照)

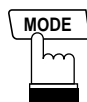




音量 / バランス / フェダーの調整



1 MODE (モード) スイッチを押して調整したいモードを選択します。押すたびにモードが切りかわります。



- ↓
VOL → 音量調整モード
音を大きくしたり小さくしたりします。(0 ~ 35)
- ↓
BAL → バランス調整モード
左右のスピーカー音量を調整します。(L15 ~ R15)
- ↓
FAD → フェダー調整モード
前後のスピーカー音量を調整します。(R15 ~ F15)

2 モードを選択し、5 秒以内に <、> ボタンを押して好みのレベルに調整します。

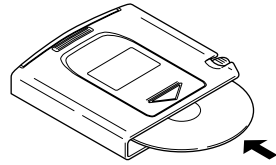


モードを選択して 5 秒間操作を行わなかった場合、選択前の表示に戻ります。
<、> ボタンは、押し続けると連続で変化します。

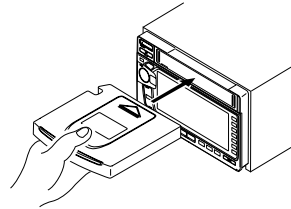


マガジンの取り扱い

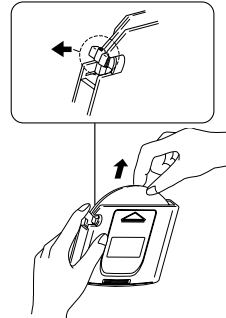
- 1** ディスクのラベル面を上にして、ディスクをマガジンに入れます。各段に1枚ずつ(計3枚)挿入します。



- 2** 本体のマガジン挿入口にマガジンを静かに入れます。



- 3** ディスクを取り出すときは、マガジンフックに指をかけてディスクを引き出します。ディスクの信号面に注意しながらディスクを取り出してください。(ディスクの取り扱い68ページ参照)



必ずお読みください

やさしく扱う

本体へのマガジン挿入や取り出しは「やさしく、静かに」行ってください。無理な力を加えるとメカニズムを壊し動作不良や故障の原因になります。

故障やケガの原因となることがあります。下記事項をお守りください。

動いているマガジンに触れない。

マガジンが動いているときにスイッチ操作をしない。

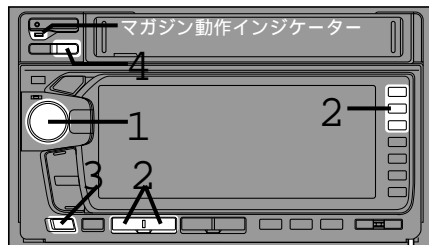
マガジンが正常にイジェクトできないとき

添付イジェクト・カードを用いて対応します。

詳しくは「故障かな?と思ったら」(71ページ)を参照してください。



演奏する

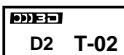
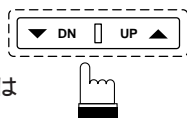
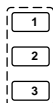


- 1** 本機にマガジンを挿入したら、SOURCE (ソース) スイッチを押して、3D モードにします。押すたびにモードが切りかわります。



→ TUNER → MD → 3D → CDチェンジャー (CD チェンジャー接続時のみ)

- 2** [1] ~ [3] のいずれかを押して、マガジンにセットされているディスクを選択します。また、ディスク・セレクト・スイッチで選択することもできます。



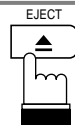
選択されたディスク No. を表示し、演奏が始まります。プリセット・スイッチ [1] ~ [3] がディスク NO.1 ~ 3 に対応しています。

- 3** 演奏を中止するときは、:/J スイッチを押します。再度演奏するときは、:/J を押します。



- 4** マガジンを取り出すときは、イジェクト・スイッチを押します。

マガジン動作インジケータが消えてから静かに取り出してください。取り出せないときは、無理に取り出そうとせず「故障かな? と思ったら」(71 ページ)をご覧ください。

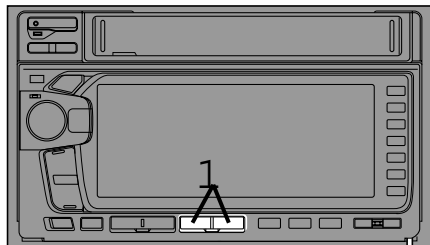


Memo

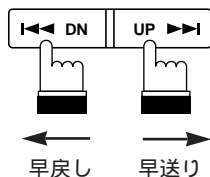
CD シングル (8cm) を聴く場合は、付属の CD アダプターまたは別売のシングル CD アダプター (4918) をご使用ください。CD アダプターの使用方法については「ディスクの取り扱い」(68 ページ) を参照してください。CD シングルは、2 枚以内でお使いください。3 枚セットすると、動作不能になる場合があります。ディスクの最後の曲が終わると、自動的に次のディスクへと演奏を開始します。また、3 枚目の演奏が全曲終了すると、1 枚目に戻り再び演奏を開始します。イグニッション・キーを OFF してからでも、イジェクトは受け付けます。



曲の早送り / 早戻しをする

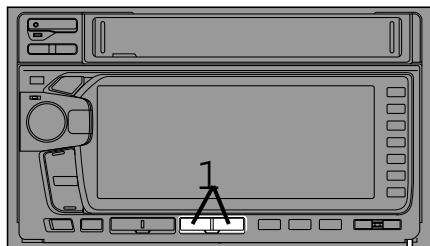


- 1** 早送りスイッチまたは早戻しスイッチを押し続けます。
聴きたいところで手を離すと、そこから演奏が始まります。

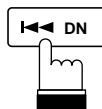


曲の頭出しをする

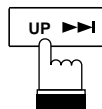
(ミュージック・センサー)



- 1** (演奏中の曲の頭出しをする場合)
DN スイッチを軽く押します。
今、演奏されている曲の頭から演奏されます。
聴きたい曲がさらに前にあるときは、この操作を繰り返します。



- (次の曲の頭出しをする場合)
UP スイッチを軽く押します。
次の曲の頭から演奏されます。
聴きたい曲がさらに後ろにあるときは、この操作を繰り返します。



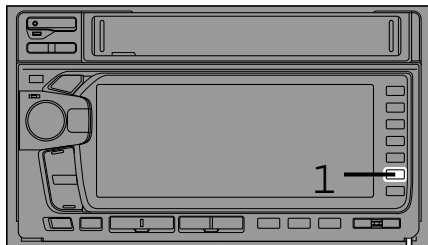
必ずお読みください

マガジンが動いているときには、ボタン操作をしないでください。動いているマガジンに手が触れ、故障やケガの原因となることがあります。



曲の初めだけを聴く
繰り返し聴く

曲の初め(イントロ) だけを聴く SCAN (スキャン)

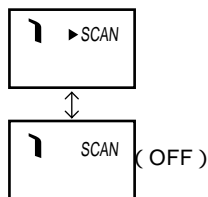
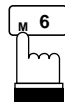


1

[M 6] (SCAN) スイッチを押します。

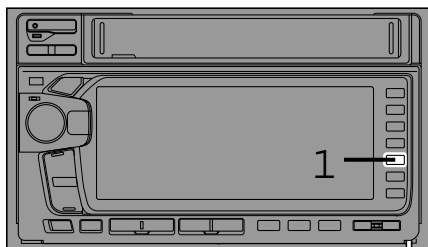
次の曲から順に、曲の初め(イントロ)だけが10秒間ずつ演奏されます。

聴きたい曲が見つかったら、再度SCANスイッチを押します。



繰り返し聴く

(リピート演奏)

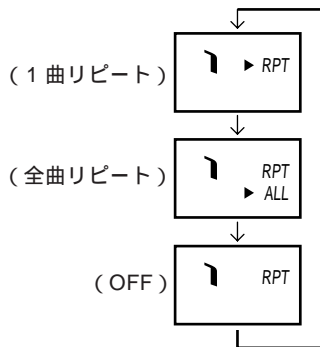
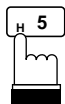


1

聴きたい曲が演奏されているときに、

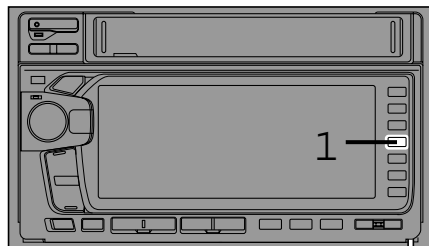
[H 5] (RPT) スイッチを押します。

演奏中の曲が終わると選択した曲が繰り返し演奏されます。解除するときは、再度RPTスイッチを押します。





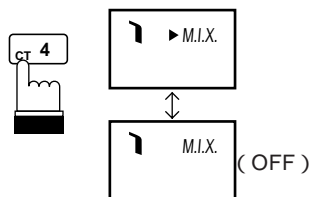
曲順を変えて聴く M.I.X. (ミュージック・イン・クロスプレイ)



1

CT 4 (M.I.X.) を押します。

曲が順不同に演奏されます。解除するには、再度 M.I.X. スイッチを押します。



Memo

M.I.X. 演奏中のディスク全曲を終了すると、次のディスクに移り、さらに M.I.X. 演奏を続けます。
CD チェンジャー (M.I.X. ALL 機能をもつ製品) と接続したときは、M.I.X. の次にくる表示が ALL になります。これは全てのディスクの曲が順不同に演奏されます。
M.I.X. 演奏のときは、1 曲リピートはできません。

きれいな音で楽しむには

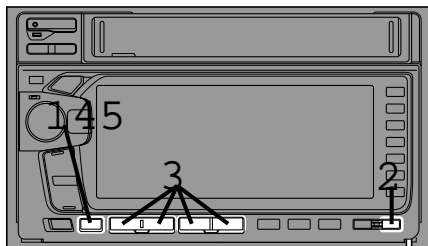
音楽を聴いているときの「バチバチ、ヒューヒュー」といった雑音は、車両雑音がオーディオ・システムに進入してきたために起こる現象です。このような場合、アース線の接続にゆるみがないかチェックしてください。また、ノイズフィルタを使えば効果的に雑音を減らすことができますので、販売店にお問い合わせください。



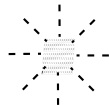


CD にタイトルをつける TITLE

(ディスク・タイトル・メモリー)

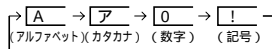


- 1** 3D モード時に、TITLE (タイトル) スイッチを 3 秒以上押します。ディスプレイの 1 桁目が点滅し、入力可能となります。



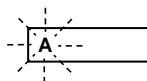
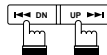
(時刻表示モードの時には、文字入力はできません。)

- 2** DISP スイッチを押します。押すごとにモードが切りかわります。(23 ページの文字記号一覧表参照)

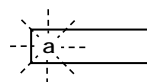
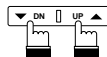


3 アルファベット / 数字 / 記号入力の場合

- 1 // DN または UP --. スイッチを押して、入力したい文字記号を選びます。



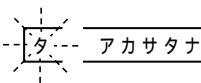
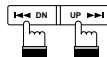
小文字にするには、9 DN スイッチを押します。UP8 スイッチを押すと、大文字に戻ります。



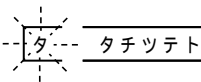
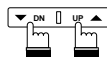
(数字 / 記号での小文字、大文字の切りかえはありません。)

カタカナ入力の場合

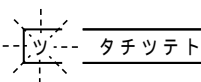
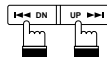
- 1 // DN または UP --. スイッチを押して、「アカサタナ...」の「行」を選びます。



- 2 9 DN または UP8 スイッチを押して、「列」を表示させます。

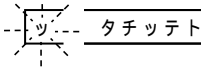


- 3 // DN または UP --. スイッチを押して、入力したい文字を選びます。



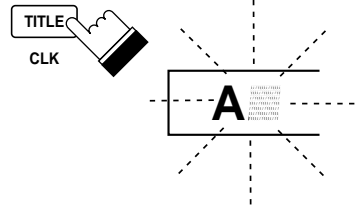
促音 (小文字) にするには、9 DN スイッチを押します。UP8 スイッチで、通常文字に戻ります。

(入力可能な促音は「ア」「イ」「ウ」「エ」「オ」「ヤ」「ユ」「ヨ」「ツ」です。)



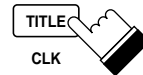


- 4** TITLE スイッチを軽く押します。
ディスプレイの 1 桁目が確定し、2 桁目が点滅します。



- 5** 2 ~ 4 を繰り返し、12 桁まで入力します。
他のディスクにタイトルをつけるときも同様です。

タイトル入力モードを終了させるには、
TITLE スイッチを 3 秒以上押します。

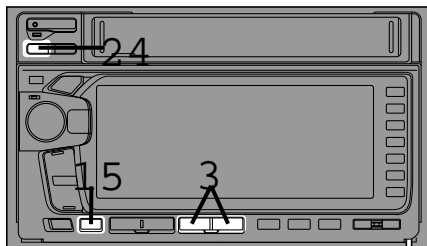


Memo

タイトルが入力されていない場合は「3CD Changer」または「6CD Changer」、「12CD Changer」と表示します。
時刻が表示されている場合は、タイトル入力はできません。時刻表示については、「時刻を表示する」(58 ページ)を参照してください。
ディスプレイに「Full Data」と表示されたときは、メモリーがいっぱいのために、入力できません。新しいタイトルを入力したいときは、22 ページの「記憶したタイトル名を消す」の方法で他のタイトルを消した後、入力します。
本機内蔵の 3D は最高 CD 18 枚分までタイトルをメモリーできます。CD チェンジャーの場合は 8 桁までの入力で、機種によってメモリー数が異なります。
記憶した内容は、バッテリー電源コードを外すと消去される場合がありますのでご注意ください。



記憶したタイトル名を消す



- 1** 3D モード時に、TITLE スイッチを 3 秒以上押します。
ディスプレイの 1 桁目が点滅します。



(時刻表示モードの時には、タイトル消去はできません。)

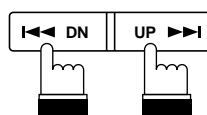
- 2** **O/C** スイッチを 3 秒以上押します。
再生中の DISC にかかわらず、メモリーされたタイトルが点滅表示されます。



(表示例)



- 3** 消したいタイトル名を探します。



- 4** **O/C** スイッチを 3 秒以上押します。
タイトルは消されます。



- 5** タイトル消去モードを終了させるには、TITLE スイッチを 3 秒以上押します。

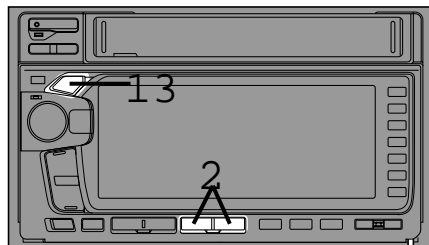


時刻が表示されている場合は、タイトル消去はできません。時刻表示については、「時刻を表示する」(58 ページ)を参照してください。



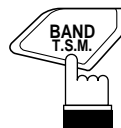
記憶したタイトル で検索する

(タイトル・サーチ・メニュー)

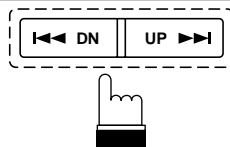


記憶した CD タイトルから、聴きたいディスクを検索できます。

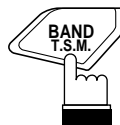
- 1** T.S.M. (タイトル・サーチ・メニュー) スイッチを押します。
検索モードになり、1 枚目のディスクのタイトルが点滅表示します。



- 2** .;/ DN または UP :;. スイッチを押して、聴きたいディスクのタイトルを選びます。



- 3** T.S.M. スイッチを押します。
検索モードが解除され、聴きたいタイトルのディスクを演奏します。



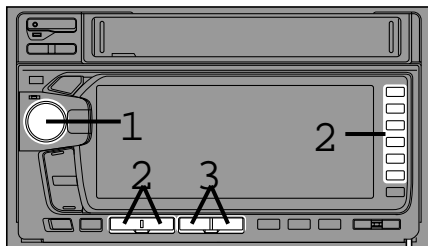
CDを聴く

文字記号一覧表

A (a)	B (b)	C (c)	D (d)	E (e)	F (f)	G (g)	H (h)	I (i)	J (j)
K (k)	L (l)	M (m)	N (n)	O (o)	P (p)	Q (q)	R (r)	S (s)	T (t)
U (u)	V (v)	W (w)	X (x)	Y (y)	Z (z)	ア(ア)	イ(イ)	ウ(ウ)	エ(エ)
オ(オ)	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ
ソ	タ	チ	ツ(ツ)	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ
ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ	ミ	ム	メ
モ	ヤ(ヤ)	ユ(ユ)	ヨ(ヨ)	・	°	ラ	リ	ル	レ
ロ	ワ	ヲ	ン	。	-	0	1	2	3
4	5	6	7	8	9	!	"	#	\$
%	&	'	()	*	+	,	-	.
/	:	;	<	=	>	?	。	「	」
、	・	(ブランク)							



6 連奏 CD チェンジャー (オプション) の操作



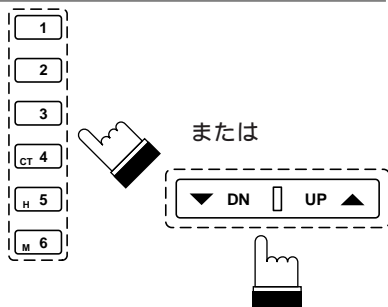
当社の CD チェンジャーが接続されている場合は、本機から CD チェンジャーを操作できます。

- 1 SOURCE スイッチを押して、CD チェンジャー・モードにします。押すごとにモードが切りかわります。

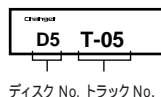
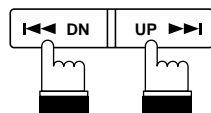


→ TUNER → MD → 3D → CDチェンジャー
(CD チェンジャー接続時のみ)

- 2 [1] ~ [6] のいずれかを押して、CD チェンジャーにセットされているディスクを選択します。またディスク・セレクト・スイッチで選択することもできます。選択されたディスク No.が表示されます。



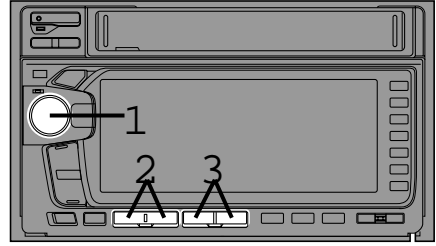
- 3 ∴ DN または UP ∴ スイッチを軽く押して、曲の番号 (トラック No.) を指定します。演奏が始まります。



CD チェンジャーは、ファンクション・スイッチを使用すれば本機と同様に操作できます。(ファンクション・スイッチの使い方 12 ページ参照) プリセット・スイッチ [1] ~ [6] がディスク No.1 ~ 6 に対応しています。



12 連奏 CD チェン ジャー（オプション） の操作



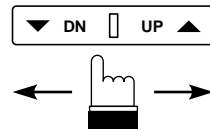
当社の CD チェンジャーが接続されている場合は、本機から CD チェンジャーを操作できます。

- 1** SOURCE スイッチを押して、CD チェンジャー・モードにします。押すごとにモードが切りかわります。



→ TUNER → MD → 3D → CDチェンジャー
(CD チェンジャー接続時のみ)

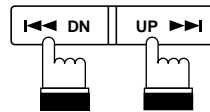
- 2** ディスク・セレクト・スイッチを押して、CD チェンジャーにセットされているディスクを選択します。選択されたディスク No. が表示されます。



ファンクション・スイッチを利用するとダイレクトにディスクを選択することができます。(12 ページ参照)

ディスク No. 1 2 6 11 12

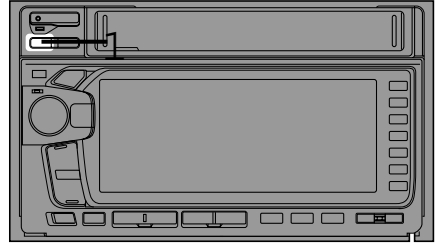
- 3** ;: DN または UP ;: スイッチを軽く押して、曲の番号 (トラック No.) を指定します。



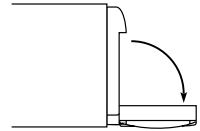
CD チェンジャーは、ファンクション・スイッチを使用すれば本機と同様に操作できます。(ファンクション・スイッチの使い方 12 ページ参照)



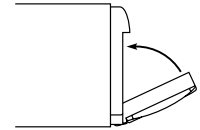
可動ディスプレイの開閉



1 オープン/クローズ・スイッチを押します。
可動ディスプレイが開きます。



開いた可動ディスプレイを閉めるときには、オープン/クローズ・スイッチを押します。
可動ディスプレイは閉まります。

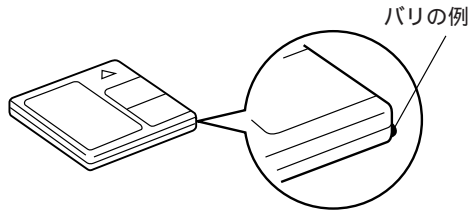


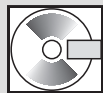
Memo

可動ディスプレイが開いた時、ディスプレイの上に物を置くなどの無理な衝撃を与えないでください。故障の原因になります。気温が低いときは、電源を入れた後しばらくディスプレイが暗いことがあります。時間がたつと正常な明るさに戻ります。

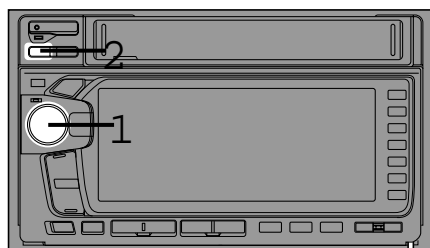
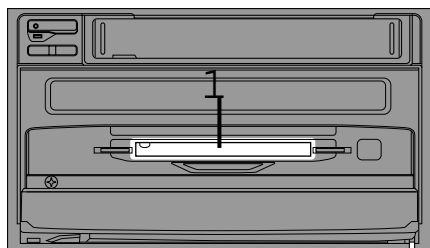
ミニディスクを挿入する前に

ミニディスクの外側を指で触って「バリ」が無いことを確認してから挿入してください。もし「バリ」があったときは、取り除いてから挿入してください。「バリ」を付けたまま挿入しますと動作不良や故障の原因になる場合があります。



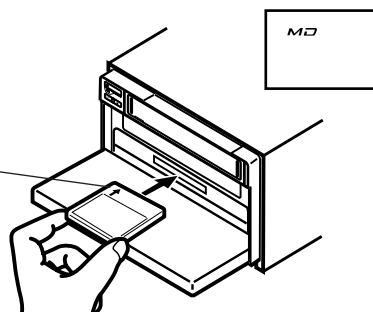


演奏する



- 1** 可動ディスプレイを開いてミニディスクを挿入すると自動的に可動ディスプレイが閉まり演奏が始まります。

ミニディスクは必ずラベル面を上にして矢印の方向に挿入してください。



すでにミニディスクが入っているときは SOURCE スイッチを押して、MD モードにします。

押すごとにモードが切りかわります。



→ TUNER → MD → 3D → CDチェンジャー

(CD チェンジャー接続時のみ)

- 2** オープン/クローズ・スイッチを押すと演奏が止まり、可動ディスプレイが開いてミニディスクが出てきます。



Memo

ミニディスクを完全に挿入していない状態で **O/C** スイッチを押さないでください。

挿入できるミニディスクは一枚だけです。

外側に付いたホコリやごみを落としてから挿入してください。

重ね貼りしたラベル、はがれかかったラベルが付いたものは使わないでください。

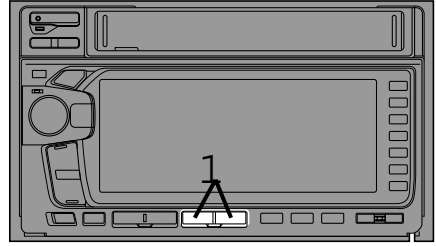
電源が OFF の状態でミニディスクを挿入しないでください。このとき無理に押し込むと故障の原因となります。



曲の頭出しをする
曲の早送り / 早戻しをする

曲の頭出しをする

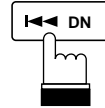
(ミュージック・センサー)



1

⏮️ スイッチを軽く押します。
今、演奏されている曲の頭から演奏されます。
聴きたい曲がさらに前にあるときは、この操作を繰り返します。

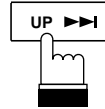
演奏中の曲の頭出しをする場合



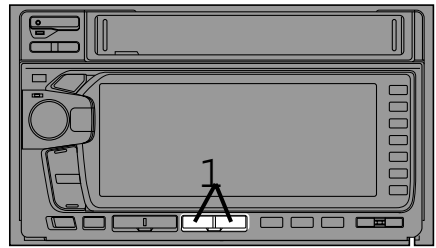
2

⏭️ スイッチを軽く押します。
次の曲の頭から演奏されます。聴きたい曲がさらに後ろにあるときは、この操作を繰り返します。

次の曲の頭出しをする場合

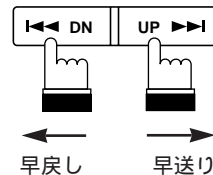


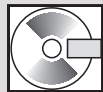
曲の早送り / 早戻しをする



1

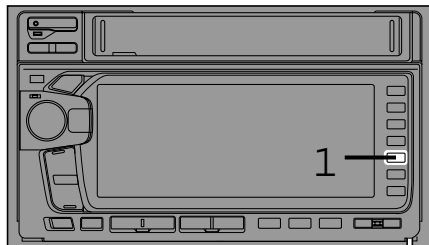
早送りスイッチまたは早戻しスイッチを押し続けます。
聴きたいところで手を離すと、そこから演奏が始まります。





繰り返し聴く

(リピート演奏)



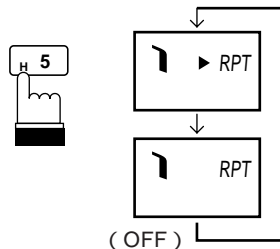
1

聴きたい曲が演奏されているときに

 (RPT) スイッチを押します。

選んだ曲を繰り返し演奏します。

解除するときは、再度 RPT スイッチを押します。

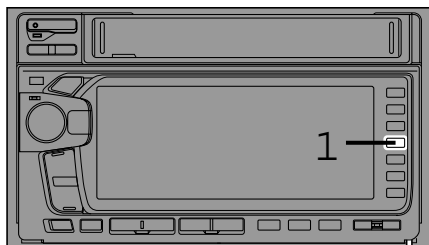


MD チェンジャー (RPT ALL 機能をもつ製品) を接続したときは、RPT の次にくる表示が ALL (全曲リピート) になります。

MD を聴く

曲順を変えて聴く M.I.X.

(ミュージック・イン・クロスプレイ)

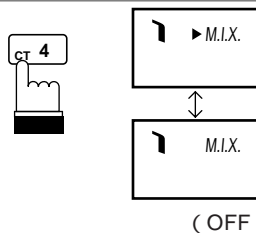


1

 (M.I.X.) スイッチを押します。

ミニディスク中の曲が、順不同に演奏されます。

解除するには、再度 M.I.X. スイッチを押します。



本機内蔵の MD では、全曲の演奏が終わると、別の順序で演奏されません。

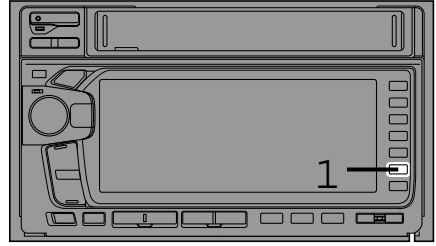
MD チェンジャー (M.I.X. ALL 機能をもつ製品) と接続したときは、M.I.X. の次にくる表示が ALL になります。これは全てのディスクの曲が順不同に演奏されます。



曲の初め（イントロ）だけを聴く タイトル・スクロールの設定

曲の初め（イントロ） だけを聴く SCAN

（スキャン）

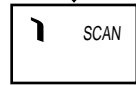


1

⑥（SCAN）スイッチを押します。

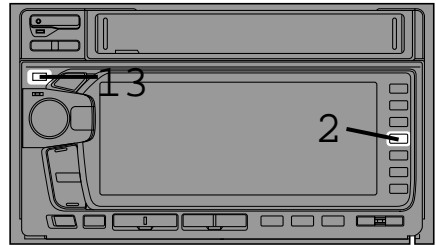
次の曲から順に、曲の初め（イントロ）だけが
10 秒間ずつ演奏されます。

聴きたい曲が見つかったら、SCAN スイッチ
を押して解除します。演奏中の曲から、通常の
演奏に戻ります。



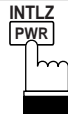
（OFF）

タイトル・スクロー ルの設定



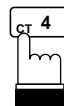
1

INTLZ（イニシャライズ）スイッチを
3 秒以上押します。



2

プリセットスイッチ ④ を押してスク
ロールのオートまたは、マニュアル
を選択します。



（工場出荷時の設定）

SCRL AUTO

SCRL MAMU

SCRL AUTO（オート）：タイトルのスクロール表示を繰り返し行います。

SCRL MANU（マニュアル）：ディスクのローディング完了時やトラックチェンジがあ
った時などでタイトル名が 12 桁を超える場合、スクロール表示を行います。

また、SCROLL スイッチを押してスクロール表示させることもできます。詳しくは「タ
イトルを表示する / スクロールする」（31 ページ）を参照してください。

3

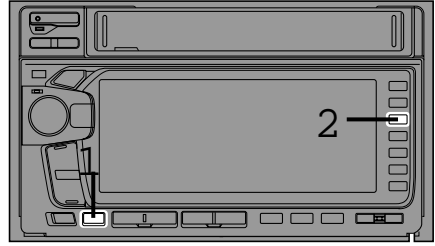
設定が終わったら INTLZ スイッチを
押してください。

通常モードに戻ります。



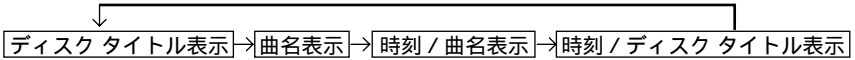
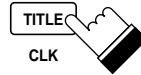


タイトルを表示する / スクロールする



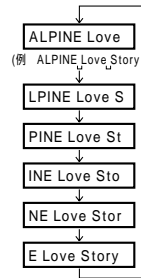
1 ミニディスク演奏中に TITLE スイッチを押します。

押すたびに表示モードが切りかわります。



2 ディスク名、曲名が長い (タイトル名が 12 桁を越える) 場合は、3 (SCROLL) スイッチを押します。

タイトルを 1 桁ずつスクロール表示させます。スクロール表示後、通常モードに戻ります。スクロールの途中で解除するには、再度 SCROLL スイッチを押します。



(タイトル・スクロールの設定が「マニュアル」モード時のみ)



Memo

タイトル・スクロールの設定で「オート」を選択している場合は、SCROLL スイッチの操作に関係なく常にスクロール表示を行います。(「タイトル・スクロールの設定」30 ページ参照。)

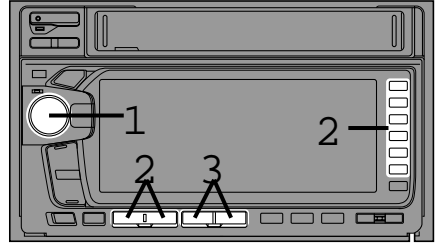
録音 / タイトル入力した機器によっては、本機で文字を正確に表示できない場合もあります。

ディスク名や曲名が記録されていない場合は、「Mini Disc」と表示します。

自動でタイトルのスクロールを行う場合もあります。



6 連奏 MD チェンジャー (オプション) の操作



当社の MD チェンジャーが接続されている場合は、本機から MD チェンジャーを操作できます。

- 1** SOURCE スイッチを押して、MD チェンジャー・モードにします。押すごとにモードが切りかわります。

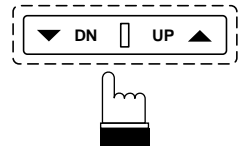


→ TUNER → MD → 3D → MDチェンジャー
(MD チェンジャー接続時のみ)

- 2** [1] ~ [6] のいずれかを押して、MD チェンジャーにセットされているディスクを選択します。またディスク・セレクト・スイッチで選択することもできます。選択されたディスク No.が表示されます。

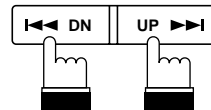


または



D5 T-01

- 3** ;: DN または UP :: スイッチを軽く押して、曲の番号 (トラック No.) を指定します。演奏が始まります。



D5 T-01

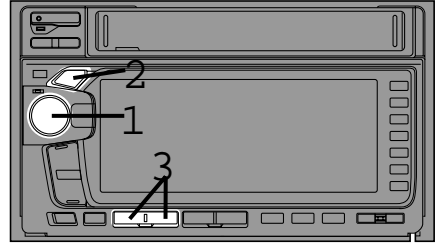
ディスク No. トラック No.

Memo

MD チェンジャーは、ファンクション・スイッチを使用すれば本機と同様に操作できます。(ファンクション・スイッチの使い方 12 ページ参照) プリセット・スイッチ [1] ~ [6] がディスク No.1 ~ 6 に対応しています。



周波数で放送局を選ぶ (マニュアル)

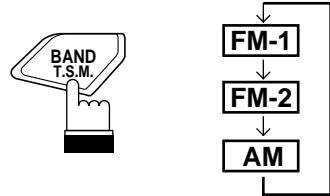


- 1** SOURCE スイッチを押して TUNER (チューナー) モードにします。
押すたびにモードが切りかわります。

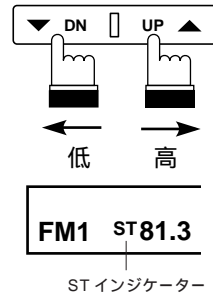


→ TUNER → MD → 3D → CDチェンジャー (CD チェンジャー接続時のみ)

- 2** BAND (バンド) スイッチを押してバンド (FM1、FM2、AM) を選びます。
押すたびにバンドが切りかわります。



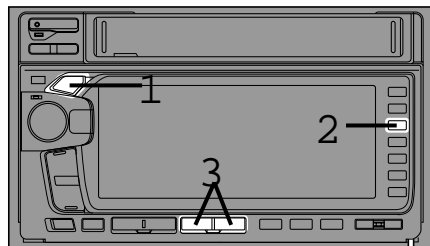
- 3** 9 DN または UP 8 スイッチを押します。
押すごとに 1 段階ずつ周波数が変わります。



ディスプレイに ST インジケーターが点灯しているときは、ステレオ放送が受信されています。



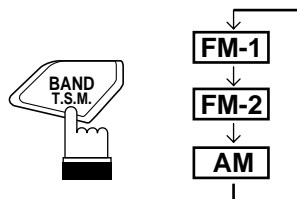
自動的に放送局を選ぶ SEEK



SEEK モードで選局する場合は、TUNE (チューニングモード切り換え) スイッチで、受信感度を設定しておくくと便利です。
ディスプレイに DX インジケータが点灯していれば受信感度はディスタンスモードです。消えていればローカルモードです。

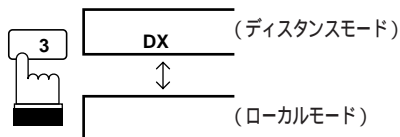
1 BAND スイッチを押してバンドを選びます。

押すたびにバンドが切りかわります。



2 ファンクション・モードが「ON」の時に [3] (TUNE) スイッチを押します。

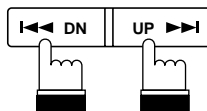
初期設定は DX になっています。



...「ファンクション・スイッチの使いかた」(12 ページ)を参照してください。

3 ; ; DN または UP ; ; スイッチを押します。

押すごとに自動で次の放送局を探し始めます。



FM1 ST81.3

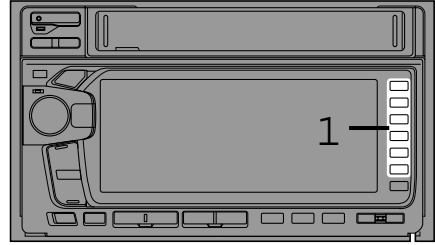


受信感度には次の 2 種類があります。
最初に電源を ON にしたときは、DX モードになっています。
DX (ディスタンス) モード ... 電波の強弱にかかわらず、受信可能な放送局がすべて受信されます。
ローカルモード 電波の強い放送局だけが受信されます。



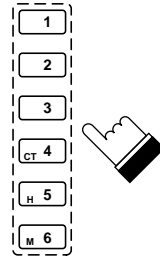
放送局を記憶する

(プリセット・メモリー)



1

- 1 33、34 ページを参照し、記憶させたい放送局に周波数を合わせます。
- 2 プリセット・スイッチ (~ のうち1つ) を2秒以上押します。ディスプレイの周波数が点滅します。
- 3 ディスプレイの周波数が点滅している間 (約5秒以内) に記憶させたいプリセット・スイッチを押します。放送局が記憶されると、ディスプレイの周波数が点滅から点灯に変わります。
- 4 さらに記憶させるときは、手順 1 ~ 3 を繰り返します。



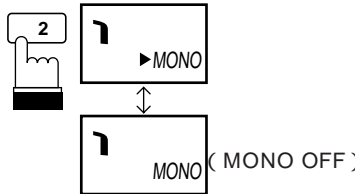
Memo

プリセットの受け付けは、ファンクション・モードが「OFF」の時です。詳しくは「ファンクション・スイッチの使いかた」(12 ページ)を参照してください。
 放送局は 24 局まで記憶できます。
 FM1 ... 6 局、FM2 ... 6 局、AM ... 6 局、FM + AM ... 6 局 (D.A.P.)
 すでに記憶されているスイッチに記憶させると、後から記憶させた放送局が有効になります。
 記憶された放送局は、バッテリー電源コードをはずさないかぎり記憶されています。

ステレオ放送が聴きにくいときは

モノラル受信に切りかえると、聴きやすくなります。

ファンクション・モードが「ON」の時に、 (MONO) スイッチを押します。
 ST インジケーターが消えモノラル受信に切りかわります。
 ステレオ受信に戻すときは、再度 (MONO) スイッチを押します。



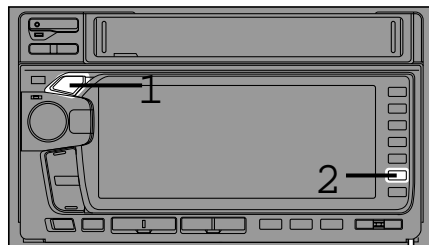
Memo

...「ファンクション・スイッチの使いかた」(12 ページ)を参照してください。

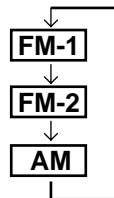
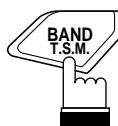


自動的に放送局を記憶する




A.ME (オート・メモリー)



- 1** BAND スイッチを押して受信したいバンドを表示させます。



- 2** ファンクション・モードが「ON」の時に  (A.ME) スイッチを押します。

放送局を探し始め、電波の強い順に 6 つの放送局が自動的に受信されてプリセット・スイッチ ( ~ ) に記憶されます。記憶が終わるとプリセット・スイッチの  に記憶されている放送局が受信されます。

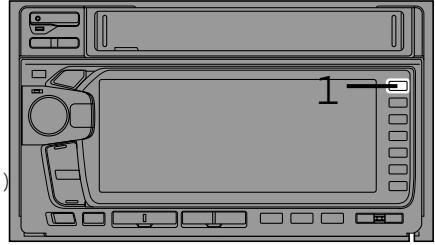


...「ファンクション・スイッチの使いかた」(12 ページ)を参照してください。


放送局を 1 つも受信できなかったときは、自動記憶の操作の直前に受信していた放送局が受信されます。

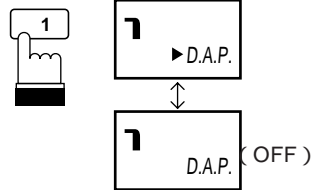


FM/AM 放送局を合 わせて記憶する D.A.P._(ダイレクト・アクセス・メモリー・プリセット)



同じバンドに FM 放送局と AM 放送局を合わせて 6 局記憶できます。

- 1** ファンクション・モードが「ON」の時に  (D.A.P.) スイッチを押します。解除するには、再度 D.A.P. スイッチを押します。



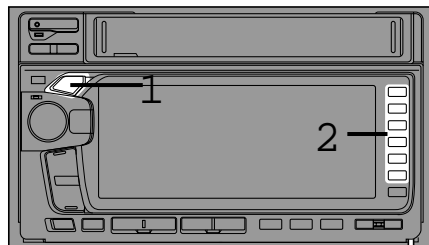
...「ファンクション・スイッチの使いかた」(12 ページ) を参照してください。

- 2** 放送局を選択して記憶させます。
放送局の選択・記憶方法は「自動的に放送局を記憶する(オート・メモリー)」、または「放送局を記憶する(プリセット・メモリー)」(35 ページ) を参照してください。

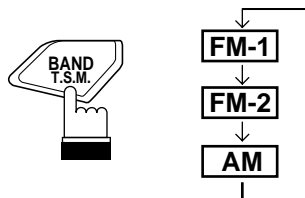


記憶した放送局を受信する

記憶した放送局を受信する



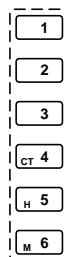
- 1** BAND スイッチを押してバンドを選びます。
押すたびにバンドが切りかわります。



D.A.P.機能を使って記憶させたときは、**1** (D.A.P.) スイッチを押します。
「FM/AM 放送局を合わせて記憶する」(37 ページ)を参照してください。



- 2** 記憶させた放送局のプリセット・スイッチ (**1** ~ **6** のうち1つ) を押します。
選択した放送局が受信されます。



FM1 82.5

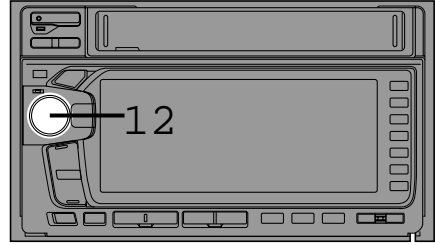


プリセットの受け付けは、ファンクション・モードが「OFF」の時です。詳しくは「ファンクション・スイッチの使いかた」(12 ページ)を参照してください。



道路交通情報を 聴く TRF

(トラフィック・インフォメーション)



1 TRF (トラフィック・インフォメーション) スイッチを 2 秒以上押します。

TRF モードになり、AM 放送の 1620kHz、または 1629kHz の交通情報を受信します。



TRF 1620

1620kHz/1629kHz を切りかえるには、
.; DN または UP ;. ;
スイッチを押します。

2 TRF モードを解除するには、再度 TRF スイッチを押します。

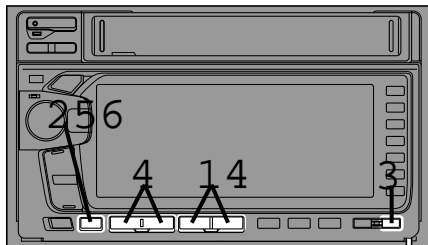


MD、CD、ラジオのいずれかを聴いていても、交通情報を受信できません。



放送局にタイトルをつける TITLE

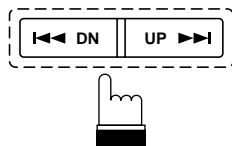
(ステーション・タイトル・メモリー)



お好みの放送局に、最大 18 局 (FM/AM 合わせて) まで、タイトルをつけることができます。

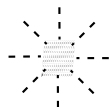
1 タイトルをつけたい放送局に周波数を合わせます。

周波数の合わせ方は 33、34 ページを参照してください。



2 時刻表示以外の時に、TITLE スイッチを 3 秒以上押します。

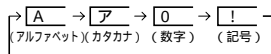
ディスプレイの 1 桁目が点滅し、入力可能となります。



(時刻表示モードの時には、文字入力できません。)

3 DISP スイッチを押します。

押すごとにモードが切りかわります。
(42 ページの文字記号一覧表参照)

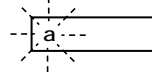
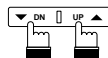
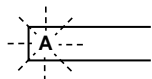
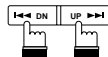


4 アルファベット / 数字 / 記号入力の場合

1 // DN または UP --. スイッチを押して、入力したい文字記号を選びます。

小文字にするには、9 DN スイッチを押します。UP8 スイッチを押すと、大文字に戻ります。

(数字 / 記号での小文字、大文字の切りかえはありません。)





カタカナ入力の場合

- 1 // DNまたはUP -- スイッチを押して、「アカサタナ...」の「行」を選びます。



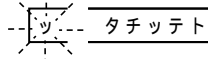
- 2 9 DNまたはUP8 スイッチを押して、「列」を表示させます。



- 3 // DNまたはUP -- スイッチを押して、入力したい文字を選びます。

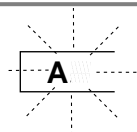


促音（小文字）にするには、9 DN スイッチを押します。
UP8 スイッチで、通常文字に戻ります。
（入力可能な促音は「ア」「イ」「ウ」「エ」「オ」「ヤ」「ユ」「ヨ」「ツ」です。）



5 TITLE スイッチを軽く押します。

ディスプレイの 1 桁目が確定し、2 桁目が点滅します。



6 3 ~ 5 を繰り返し、10 桁まで入力します。

入力されたタイトルが記憶され、受信中表示されます。

他の放送局にタイトルをつけるときも同様です。

タイトル入力モードを終了させるには、TITLE スイッチを 3 秒以上押します。



Memo

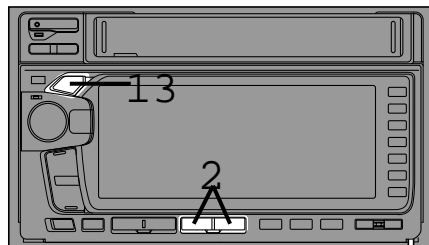
タイトルが入力されていない場合は、「TUNER」と表示します。
時刻が表示されている場合は、タイトル入力はできません。時刻表示については、「時刻を表示する」(58 ページ)を参照してください。
タイトル名を消すには、42 ページ 文字記号一覧表 の (ブランク) を選び、上記操作手順同様に入力します。
記憶した内容は、バッテリー電源コードを外すと消去されますのでご注意ください。



記憶したタイトルで検索する

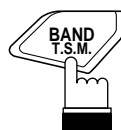
記憶したタイトル で検索する

(タイトル・サーチ・メニュー)

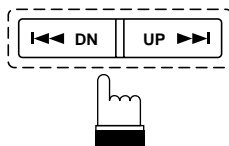


記憶したステーション・タイトルから、聴きたい放送局を検索できます。

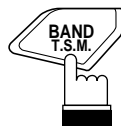
- 1 T.S.M. (タイトル・サーチ・メニュー) スイッチを 2 秒以上押します。
検索モードになり、記憶したタイトルが点滅表示します。



- 2 ;: DN または UP ;: スイッチを押して、聴きたい放送局のタイトルを選びます。



- 3 T.S.M. スイッチを押します。
検索モードが解除され、聴きたいタイトルの放送局を受信します。

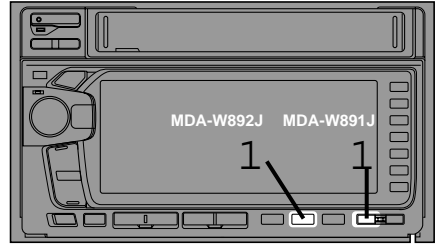


文字記号一覧表

A (a)	B (b)	C (c)	D (d)	E (e)	F (f)	G (g)	H (h)	I (i)	J (j)
K (k)	L (l)	M (m)	N (n)	O (o)	P (p)	Q (q)	R (r)	S (s)	T (t)
U (u)	V (v)	W (w)	X (x)	Y (y)	Z (z)	ア(ア)	イ(イ)	ウ(ウ)	エ(エ)
オ(オ)	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ
ソ	タ	チ	ツ(ツ)	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ
ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ	ミ	ム	メ
モ	ヤ(ヤ)	ユ(ユ)	ヨ(ヨ)	ゝ	ゞ	ラ	リ	ル	レ
ロ	ワ	ヲ	ン	。	-	0	1	2	3
4	5	6	7	8	9	!	"	#	\$
%	&	'	()	*	+	,	-	.
/	:	;	<	=	>	?	。	「	」
、	・	(ブランク)							



イコライザー特性 (メーカー設定)を選ぶ

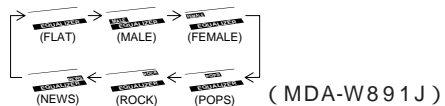
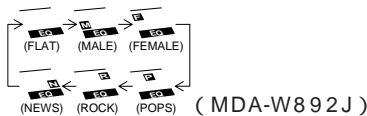
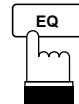


1

EQ スイッチを押します。

押すたびにイコライザー・モード・インジケータが切りかわり、希望するイコライザー特性を選ぶことができます。

イコライザー・モードは、音楽ジャンルに合わせてあらかじめ設定されている6種類 (FLAT、MALE、FEMALE、POPS、ROCK、NEWS) の中から選べます。



イコライザー (メーカー設定) パターンについて

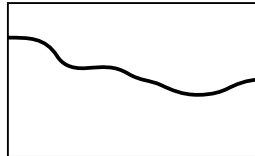
パターン1	FLAT
-------	------

フラットな周波数



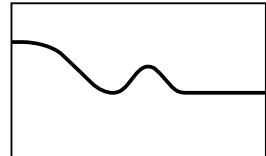
パターン2	MALE(男性ボーカル)
-------	--------------

高域をやや強調する



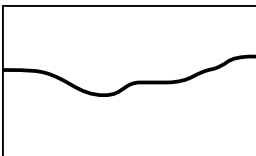
パターン3	FEMALE(女性ボーカル)
-------	----------------

高域をやや抑える



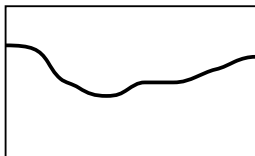
パターン4	POPS
-------	------

中域中心に全体を強調する



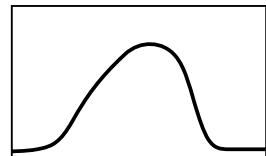
パターン5	ROCK
-------	------

低域および高域を強調する



パターン6	NEWS
-------	------

中域だけを強調する

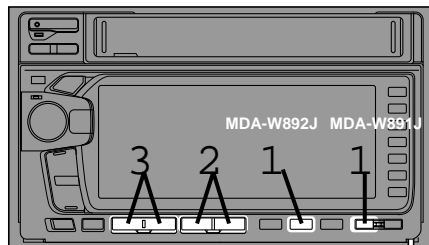


Memo

実際の表示とは異なります。



自分でイコライザー・カーブを作る



1 EQスイッチを押して、調整したいイコライザー特性を選びます。

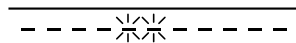
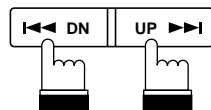


例 (FLAT) の場合



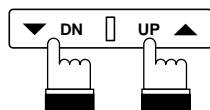
(MDA-W892J) (MDA-W891J)

2 1の操作の後5秒間の間に周波数バンド・アップ/ダウン・スイッチを押して、調整したい周波数帯を点滅させます。



3 点滅している間にレベル・アップ/ダウン調整スイッチを押して、好みのレベルに調整します。

さらに別の周波数帯を調整するには上記手順を繰り返し調整をおこないます。

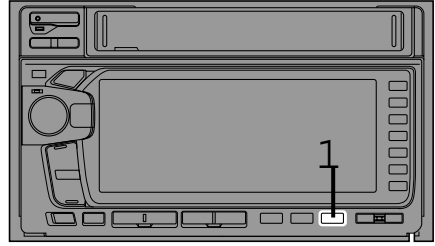


Memo

他のイコライザー特性を選ぶには、EQスイッチを押して、イコライザー特性(メーカー設定)を選んでください。
EQスイッチを押した後、5秒間の間は、// DN / UP ---、9 DN / UP8 スイッチでのディスク操作(早送りやディスク選択等)は行えません。



サラウンド・モード (メーカー設定)を選ぶ (MDA-W892Jのみ)

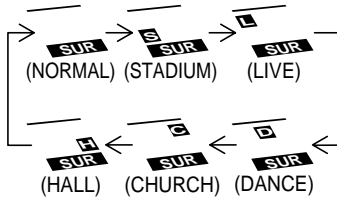
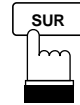


本機は、DSP (デジタル・シグナル・プロセッシング) を使って様々な音響空間を作り出すことができます。色々な音楽ソースに応じて6種類のサラウンド・モードを選ぶことができます。

1 SUR スイッチを押します。

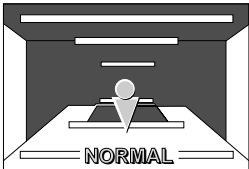
押すたびにサラウンド・モード・インジケーターが切りかわり、希望するモードが選択できます。

サラウンド・モードは、あらかじめ設定されている6種類 (NORMAL、STADIUM、LIVE、DANCE、CHURCH、HALL) の中から選べます。



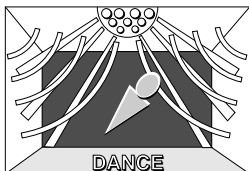
NORMAL (FLAT)

サラウンド・モードは働きません。



DANCE

適度な反響でダンスホールの音場を作り出します。



STADIUM

屋外スタジアムの音場を作り出します。



CHURCH

天井が高く反響の多い大きな教会の音場を作り出します。



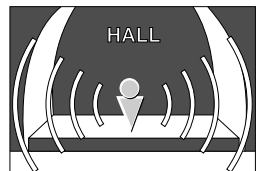
LIVE

少ない反響で小さなコンサートホールの音場を作り出します。



HALL

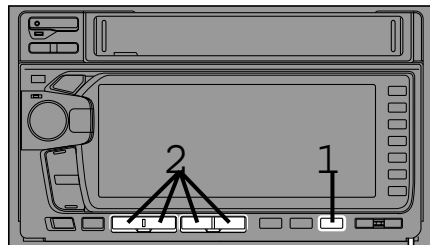
音の反響によって大きなコンサートホールの音場を作り出します。



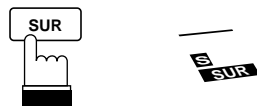
実際の表示とは異なります。



サラウンド・レベル/タイムの調整 (MDA-W892Jのみ)

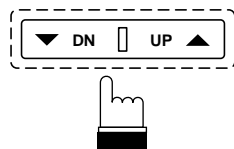


- 1** SUR スイッチを押します。
調整したいサラウンド・モード (NORMAL 以外) を選びます。



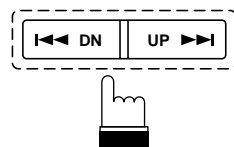
- 2** 1 の操作の後 5 秒間の間に、レベル・アップ/ダウン調整スイッチを押してお好みのサラウンド・レベルに調整します。

サラウンド・レベルは、- 4 ~ + 4 までの段階に調整することができます。



周波数バンド・アップ/ダウン・スイッチを押してお好みのサラウンド・タイム (残響時間) に調整します。

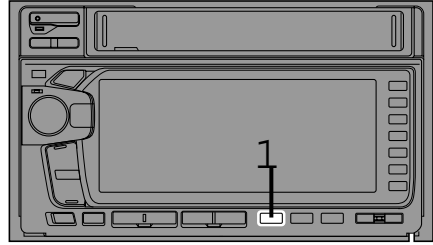
サラウンド・タイムは、- 4 ~ + 4 までの段階に調整することができます。



MEMO SUR スイッチを押した後、5 秒間の間は、// DN / UP - -、9 DN / UP8 スイッチでのディスク操作 (早送りやディスク選択等) は行えません。

D.H.E.モードを 選ぶ

(MDA-W892Jのみ)



D.H.E. (Digital Harmonics Enhancer) は、デジタル信号処理技術を用いて、楽器などの音色を決定する「倍音成分」を操作しております。この処理を周波数帯域毎に独立に操作することにより、各楽器やボーカルの音を際立たせ、走行騒音の多い車内に於いても音楽をクリアに再生することができます。

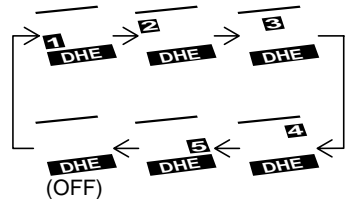


1

D.H.E.スイッチを押します。

押すたびに D.H.E.1、D.H.E.2、D.H.E.3、D.H.E.4、D.H.E.5、OFF の順に切りかわります。

お好みのモードを選んでください。



Beat MAX
(D.H.E.1)

特にリズム系 BASS を強調し、ノリの良い低音を再現します。

Lyric MAX
(D.H.E.2)

女性ボーカルを特に際立たせて艶やかに再現します。

Beat MIX
(D.H.E.3)

車室内においてバランスの取れたノリの良い低音を再現します。

Lyric MIX
(D.H.E.4)

車室内において女性ボーカルをよりクリアに再現します。

Phase MIX
(D.H.E.5)

どんなジャンルを聴いても、バランスの取れた明瞭度の高い音楽を再現します。

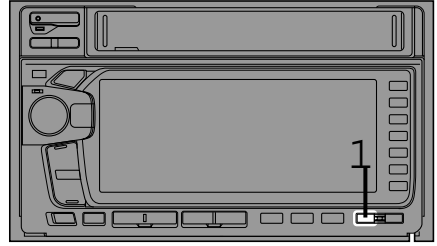


D.H.E. スイッチを押した後、5 秒間の間は、// DN / UP ---、9 DN / UP8 スイッチでのディスク操作 (早送りやディスク選択等) は行えません。



リスニング・ポジションを合わせる L.P.S.

リスニング・ポジションを合わせる L.P.S. (MDA-W892Jのみ) (リスニング・ポジション・セクター)

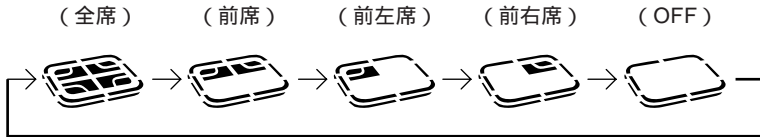


音像を聴きやすい位置に移動でき、どの座席からも自然な広がりのあるサウンドが楽しめます。



1 L.P.S.スイッチを押します。

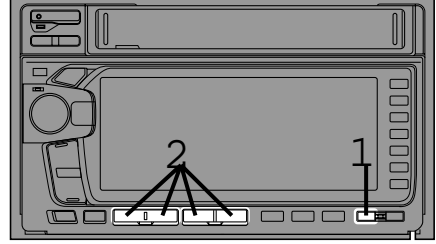
押すたびに車の座席が切りかわります。
お好みの位置を選びます。



L.P.S. スイッチを押した後、5秒間の間は、./ / DN / UP - -、9 DN / UP8 スイッチでのディスク操作（早送りやディスク選択）は行えません。



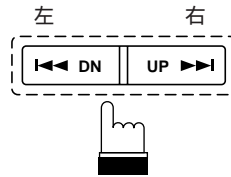
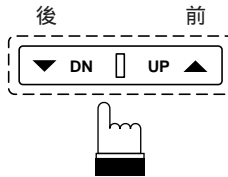
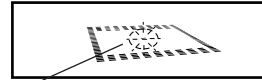
リスニング・ポジションの調整 (MDA-W892Jのみ)



- 1** L.P.S.スイッチを押します。
調整したいリスニング・ポジション（OFF以外）を選びます。



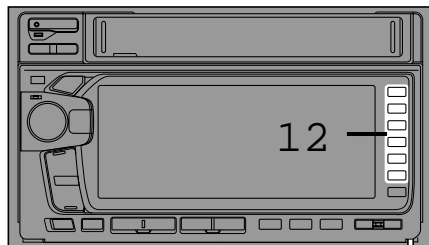
- 2** 1の操作の後5秒間の間に、ポジション調整スイッチを押して、お好みの位置に調整します。
このポイントを前後左右、各4段階に調整することができます。





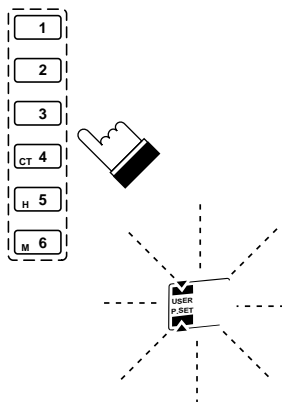
カーブを記憶する

カーブを記憶する

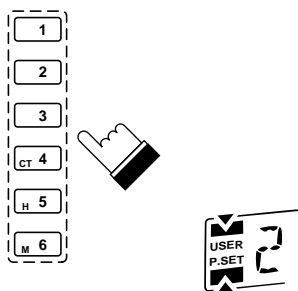


メーカー設定および自分で作ったカーブを記憶させることができます。

- 1** メーカー設定を選ぶか、または自分でカーブを作った後、5 秒間の間にプリセット・スイッチのいずれか1つを2秒以上押します。
インジケーターが点滅し、5秒間記憶可能状態になります。



- 2** 点滅している間に記憶させたいプリセット・スイッチを押します。
これで選んだカーブが記憶されます。
さらに記憶するには上記手順を繰り返します。



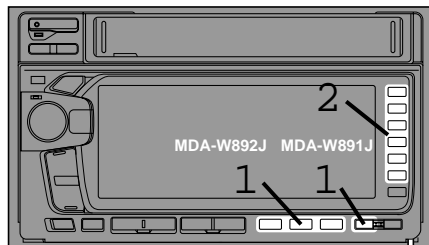
プリセット 2 に記憶の場合



MDA-W892J のメモリー・スイッチには D.H.E.、サラウンド、イコライザーの状態を、MDA-W891J ではイコライザーの状態を記憶させる事ができます。



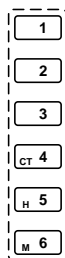
記憶したカーブを呼び出す



- 1** MDA-W892Jでは、D.H.E./サラウンド/イコライザー・スイッチのいずれかを、MDA-W891Jではイコライザー・スイッチを押します。



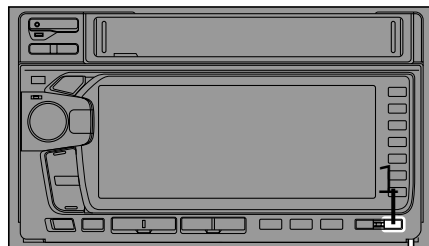
- 2** 1の操作の後5秒間の間に呼び出したい、いずれか1つのプリセット・スイッチを押すとお好みの特性が得られます。



(プリセット2を呼び出した場合)

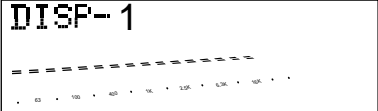

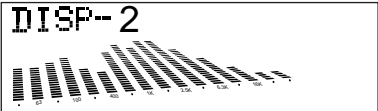
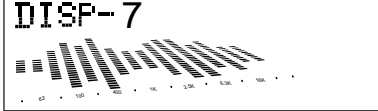
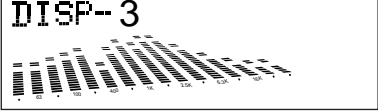
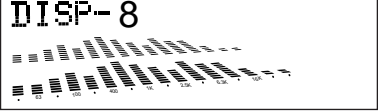
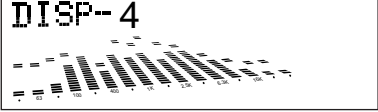
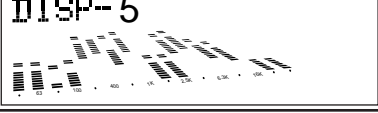


表示パターンを切りかえる



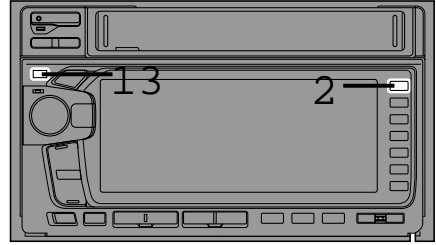
- 1** DISP スイッチを押します。
グラフィック・デザインのパターンの中からお好みの表示パターンを選びます。
押すたびに表示パターンが切りかわります。



パター ン	表 示	パター ン	表 示
1	EQ パターン表示 DISP-1 	6	ブロック・パターン表示 DISP-6 
2	スペアナ表示 DISP-2 	7	ミラー・パターン表示 DISP-7 
3	ピーク・ホールド表示 DISP-3 	8	スペアナ 2 段表示 DISP-8 
4	ピーク値上昇表示 DISP-4 	9	スキャン表示 (DISP2 ~ DISP8 までエンドレスで 5 秒毎に繰り返します。)
5	“i” の字パターン表示 DISP-5 	10	動作モード表示 各モードの動作表示をします。



サウンドガイド機能



スイッチを押したときに「BEEP」を鳴らして、操作を受けつけた事を伝えます。

- 1** INTLZ スイッチを 3 秒以上押し
ます。



- 2** プリセット・スイッチ **1** を押します。
ディスプレイに BEEP ON を表示します。再
度 **1** を押すと BEEP OFF になり、スイ
ッチを押しても音が出なくなります。



(工場出荷時の設定)

BEEP ON



BEEP OFF

- 3** 設定が終わったら、INTLZ スイッチ
を押してください。通常モードに戻
ります。



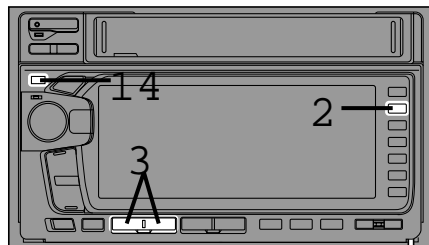
Memo

本機内蔵 3D のディスクチェンジ、イジェクト動作中または、可動ディスプレイの開閉時の警告ブザーは、BEEP の ON、OFF に関係なく音を出します。



コントラストの調整

コントラストの調整



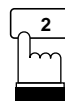
ドット・マトリクス表示部が見えにくいとき、コントラスト（明暗）を調整します。



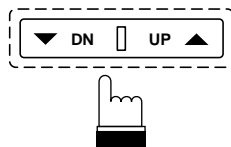
- 1** INTLZ スイッチを 3 秒以上押し
ます。



- 2** プリセット・スイッチ **2** を押し
ます。



- 3** 調整スイッチを押して、見やすくな
るように調整します。
コントラスト調整は、- 6 ~ + 6 までの段階
に調整することができます。



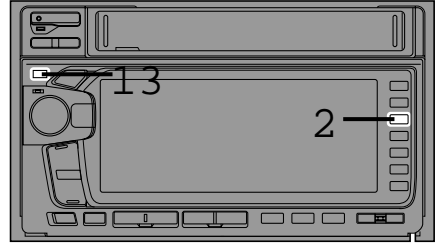
- 4** 設定が終わったら INTLZ スイッチを
押してください。通常モードに戻りま
す。



工場出荷時のレベルは、0 に設定してあります。

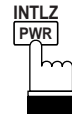


外部割り込みモードの ON/OFF



外部割り込みモードを ON にすると、外部ユニットの音声を割り込ませるので、本体の音声にミュート (MUTE) がかかり、音声操作ができなくなります。これは、ナビゲーションの音声や電話の音を聞き逃がすことがないようにするものです。

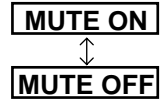
- 1** INTLZ スイッチを 3 秒以上押し
ます。



- 2** プリセット・スイッチ **3** を押して、
ミュート・オンまたはオフを選択しま
す。

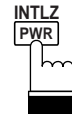


(工場出荷時の設定)



- ミュート・オン： 外部割り込みが入ったと
きにミュートが起動し、
音声操作はできません。
ミュート・オフ： 割り込みモードのとき、
音声操作ができます。

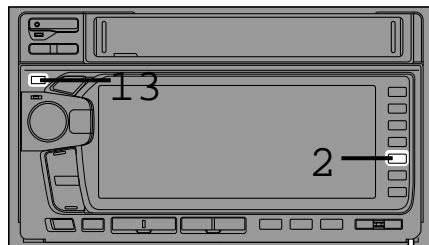
- 3** 設定が終わったら INTLZ スイッチを
押してください。通常モードに戻り
ます。



この機能は、対応製品との組み合わせで、INT (音声割り込み) コードが接続されている場合に有効となります。



ダイバーシティの 対応



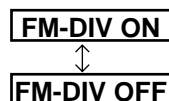
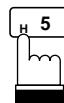
ダイバーシティ・アンテナ車の場合 **FM-DIV ON** にしてください。

走行中の電波に応じて、受信状態の最もよいアンテナを複数のアンテナから自動で選択し、常に安定した受信状態にします。

- 1 INTLZ (イニシャライズ) スイッチを 3 秒以上押します。



- 2 プリセット・スイッチ **H 5** を押します。
ディスプレイに FM-DIV ON または FM-DIV OFF を表示します。



(工場出荷時の設定)

- 3 設定が終わったら、INTLZ スイッチを押してください。通常モードに戻ります。

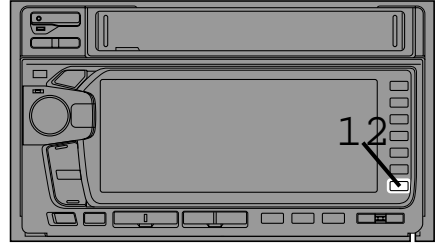


Memo

ダイバーシティ・アンテナ以外の車の場合 **FM-DIV OFF** にしてください。

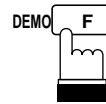


デモンストレーション機能

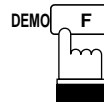


本機には、各ソースの基本的な動作をディスプレイに表示させるデモンストレーション機能が用意されています。

- 1** DEMO（デモンストレーション）スイッチを2秒以上押します。デモンストレーション・モードになり、各動作の表示のみがディスプレイに表示されます。

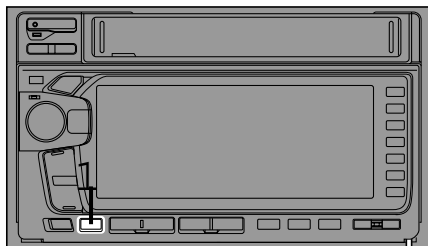


- 2** 解除するには、DEMOスイッチを2秒以上押します。





時刻を表示する

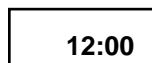


1

CLK (クロック) スイッチを押します。

押すたびにモードが切りかわります。

時刻表示モードを選んでください。



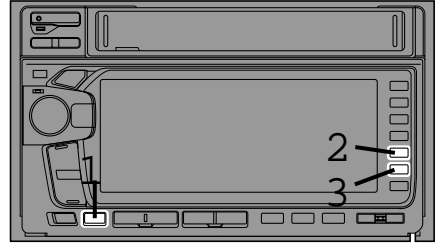
Memo

電源が OFF 状態でもイグニッション・キーが ON のとき、CLK スイッチを押すと時刻を表示します。

エンジン停止中に長時間ご使用になると、バッテリーが過放電となり、エンジンの始動ができなくなる恐れがあります。

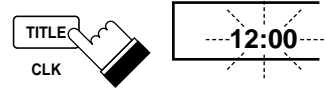


時刻を設定する



各手順の操作は 5 秒間の間に行ってください。

- 1 電源が ON のとき、CLK スイッチを押して時刻を表示させます。
(58 ページ参照)
さらに CLK スイッチを 3 秒以上押しします。
時刻が点滅します。



- 2 点滅中に [H 5] (H) スイッチを押して「時」を合わせます。



9:00

9 : 35 に合わせる場合

- 3 点滅中に [M 6] (M) スイッチを押して「分」を合わせます。
「時刻」を合わせてから 5 秒後に時刻が確定されます。



9:35



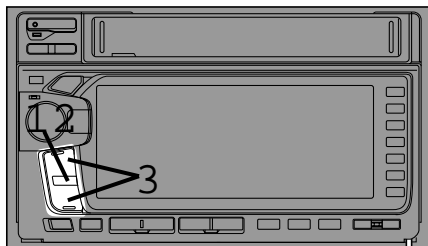
時報に合わせたいときは、「時」設定後に [CT 4] (CT スイッチ) を押すと分表示が 00 となります。「:30」を超えた表示のときに [CT 4] を押すと「時」は繰り上がります。



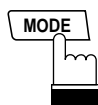
サブウーハーレベルを調整する

サブウーハーレベルを調整する

(サブウーハーと組み合わせた場合)



- 1** SUBW. スイッチを 3 秒以上押し
て、「SUB.W ON」にします。
押すごとに、サブウーハーの ON/OFF が切
りかわります。

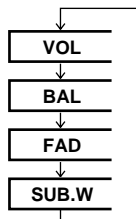
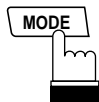


SUB.W ON

SUB.W OFF

(工場出荷時の設定)

- 2** MODE スイッチを押して、SUB.W
モードを選択します。



- 3** <、> を押して、サブウーハーの出
力レベルを調整します。



SUB.W + 15

Memo

不明な点は販売店もしくは、インフォメーションセンターにお問い合わせください。

サブウーハーを接続する場合、ローパスフィルター内蔵のアンプが必要です。

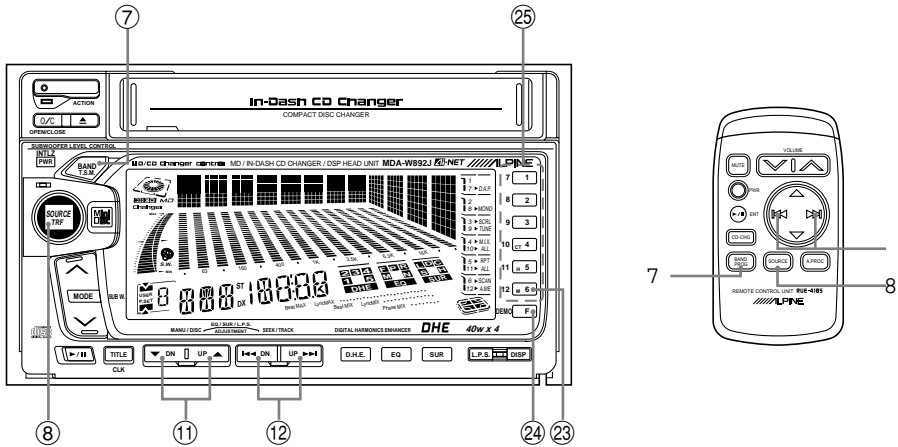
ゆたかなカーライフをおくるために

本機は、CD チェンジャー、アンプ、サブウーハーと組む、カーナビと組むなど音に映像に情報にお好みのシステムへ展開することができます。

本機の性能を十分に発揮させ、ゆたかなカーライフをおくるためにお買い上げ店またはインフォメーションセンターにお問い合わせください。



TVをコントロールする (P. 61 ~ P. 64)



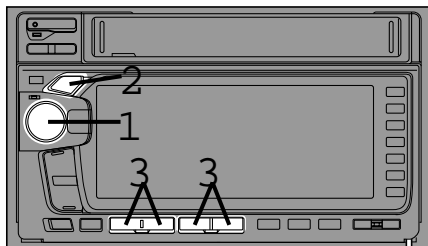
7	バンド切りかえスイッチ	23	オートメモリー・スイッチ
8	オーディオ・ソース選択スイッチ	24	ファンクション・スイッチ
11	チューニング・アップ/ダウン・スイッチ(マニュアル)	25	プリセット No. 選択スイッチ
12	チューニング・アップ/ダウン・スイッチ (SEEK)		



組み合わせる製品の説明書も合わせてご覧ください。

放送局を選ぶ

(マニュアル / SEEK)



- 1** SOURCE スイッチを押します。
押すたびにモードが切りかわります。
ディスプレイの表示を見ながら TV モードに
合わせてください。

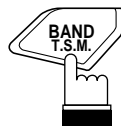


→ TUNER → TV → MD → 3D → CDチェンジャー
(各ユニットを接続している場合に表示)

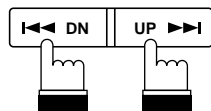


切りかわるモードは、接続するユニットによって異なります。

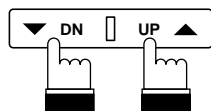
- 2** バンド・スイッチを押してバンド
(TV1、TV2、TV3) を選びます。



- 3** DN または UP スイッチを押します。
SEEK : 自動で放送局 (チャンネル) を
探し、受信可能なチャンネルで
止まります。
マニュアル: 押すごとに放送局 (チャンネル)
が切りかわります。

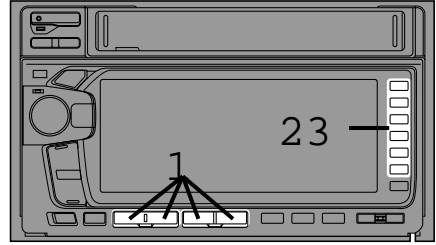


SEEK



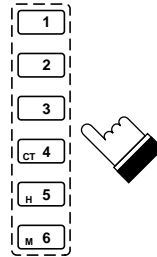
マニュアル

チャンネルを記憶する

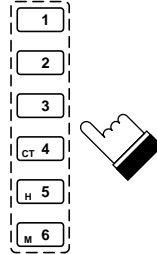


1 マニュアルまたは SEEK で放送局を選びます。

2 [1] ~ [M 6] スイッチのいずれか 1 つを 2 秒以上押します。



3 2 の操作の後 5 秒間の間に、記憶させたい [1] ~ [M 6] スイッチのいずれかを押します。

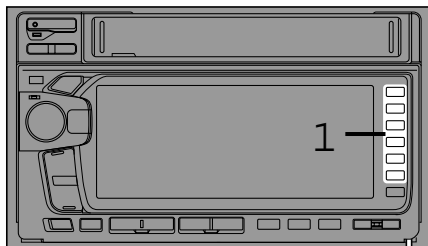


4 さらに記憶を続けるには、手順 1 ~ 3 を繰り返します。

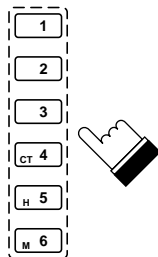


プリセットの受け付けは、ファンクション・モードが「OFF」の時です。詳しくは「ファンクション・スイッチの使いかた」(12 ページ)を参照してください。

記憶した放送局を 呼び出す

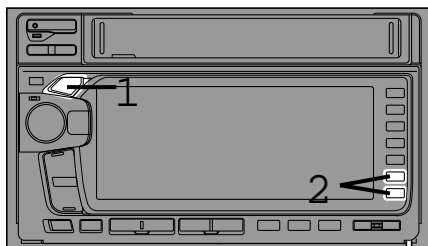


- 1** TVモードのときに、記憶させた
[1] ~ [M6] スイッチのいずれかを押
します。
ダイレクトに放送局が受信されます。

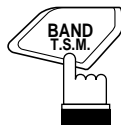


プリセットの受け付けは、ファンクション・モードが「OFF」の時です。詳しくは「ファンクション・スイッチの使いかた」(12ページ)を参照してください。

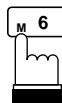
自動で放送局を記 憶する



- 1** BAND スイッチを押して受信した
いバンドを表示させます。



- 2** [F] スイッチを押してファンクシ
ョン・モード「ON」にします。次に
[M6] (A.ME) スイッチを押します。
電波の強いチャンネルを選択し、[1]
~ [M6] スイッチに記憶されます。



...「ファンクション・スイッチの使いかた」(12ページ)を参照してください。



使用時のご注意

リモコンは、リモコン送信部をリモコンセンサーに向け 2 メートル以内でお使いください。

リモコンセンサーに直射日光が当たっていると、操作できない場合があります。

リモコンは小型軽量の精密機械です。破損、電池の早期消耗、誤動作や操作感の悪化の原因にならないよう、次の点に注意してお使いください。

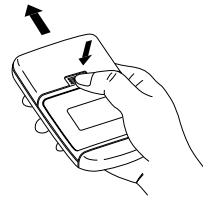
衝撃を加えない・ズボンのポケットに入れない・飲み物をかけない・湿気や埃を避ける・直射日光の当たる場所に置かないでください。

電池を入れる

1

フタを開ける

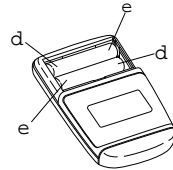
フタを少し強めに押しながらか外側へ押ししてください。



2

電池を入れかえる

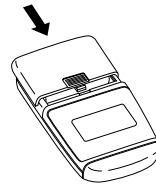
本体の e、d 表示通り入れてください。



3

フタを閉める

“カチッ”と音がして固定されます。



電池は単 4 乾電池 (UM-4) × 2
をご使用ください。

⚠ 警告

運転中は操作をしない・表示を見ない

運転者は走行中に操作をしたり表示を見たりしないでください。走行中に操作をする
と前方不注意となり事故の原因となります。必ず安全な場所に車を停車させてください。



リモコンで操作する

基本操作

音量調整スイッチ

音量を大きくします。... スイッチ

音量を小さくします。... スイッチ

ミュートスイッチ

各瞬時に 20dB 音量を下げます。再度押すと解除します。

電源スイッチ

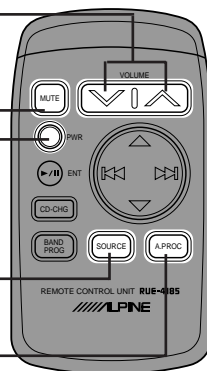
電源の ON/OFF を行います。

オーディオ・ソース選択スイッチ

オーディオ・ソースを切りかえます。

オーディオ・プロセッサー・スイッチ

イコライザー / サラウンド等のモードを切りかえます。



CD / チェンジャーを操作する

ミュージック・センサー・スイッチ

曲の頭に戻ります。押し続けると早戻しします。

手前の曲の頭出しを行います。

DISC セレクト・スイッチ

ディスク No. が切りかわります。

プレイ / ポーズ・スイッチ

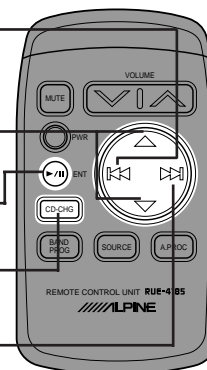
プレイ / ポーズの切りかえを行います。

CD チェンジャー・スイッチ

CD チェンジャー操作に切りかえます。

ミュージック・センサー・スイッチ

次の曲の頭に進みます。押し続けると早送りします。



MD を操作する

ミュージック・センサー・スイッチ

曲の頭に戻ります。押し続けると早戻しします。

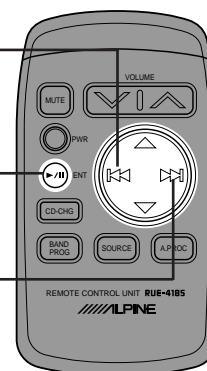
手前の曲の頭出しを行います。

プレイ / ポーズ・スイッチ

プレイ / ポーズの切りかえを行います。

ミュージック・センサー・スイッチ

次の曲の頭に進みます。押し続けると早送りします。





ラジオを操作する

チューニング・スイッチ —————

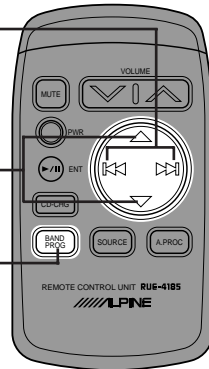
放送局を選びます。
押すごとに周波数が変わります。(SEEK)

プリセット No. 切替スイッチ —————

プリセット No. を切りかえます。

バンド・スイッチ —————

バンドを切りかえます。



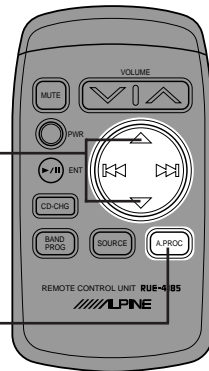
イコライザー / サラウンドを操作する

メーカー設定選択スイッチ —————

オーディオ・プロセッサー・スイッチを押した後、各モードのメーカー設定や、記憶したカーブの選択を行います。

オーディオ・プロセッサー・スイッチ —————

押すごとにモードを切りかえます。



ディスクの取り扱い

ディスクはデリケートなものです。ディスクの取り扱いにあたっては、次のことを守ってお使いください。

正しい持ち方

ディスクは落とさないでください。
表面に指紋をつけないようにお持ちください。
テープやラベルなどを貼らないでください。
ディスクの上で字を書いたりしないでください。



お手入れ

表面に指紋、ほこりなどが付くと音飛びの原因となります。
柔らかい、きれいな布で、ディスクの中心から外側へ拭きとってください。
汚れがひどい場合は、柔らかい布を中性洗剤で湿らせてから、から拭きしてください。



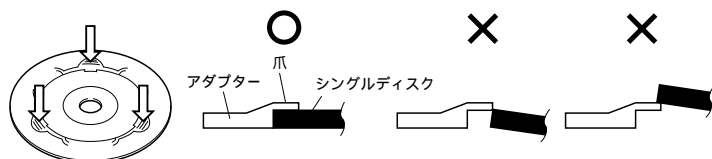
市販のアクセサリーについて

ディスクの表面を保護したり、音質の向上を目的とした市販のアクセサリーは、なるべく使用しないでください。
ディスクの大きさや厚みに影響を及ぼし、故障の原因になることがあります。

CD シングルアダプターについて

CD シングルアダプターは、次の点を守ってお使いください。

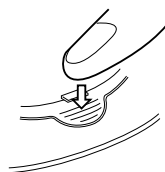
1. シングルディスクをアダプターにセットする。
2. 3箇所（下図参照）の爪（下図参照）が正しくかかっているか確認する。



全体が平らになっていることを確認してから機器に挿入してください。

爪が正しくかかっていない（ディスクが浮いている）ときは指（右図参照）で押し込んでください。

悪い状態で使用すると「ディスク取り出し不能、動作不良、故障の原因」になります。必ず確認してからお使いください。



ミニディスクとは

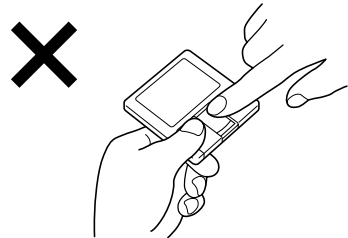
カートリッジの中に直径 64mm のディスクが収められたもので取り扱い性に優れています。ディスクに触れずに信号を読み取りますので、テープのように絡んだり音質が劣化することがありません。記録方式は ATRAC (Adaptive TRansform Acoustic Coding) という圧縮技術を利用して音楽データを約 1/5 にしてありますが、CD に迫る音質を実現しています。

取り扱い

ミニディスクはカートリッジに収納されているためホコリや指紋が付く心配がありません。ただし、カートリッジの汚れがすき間から入ったり、正しい取り扱いをしないと誤動作の原因になることがありますので、次のことを守ってお使いください。

- シャッターを開けない
- 内部にさわらない
- ホコリやごみが付いたら拭きとる
(外側や裏面中央の円形部)
- 直射日光下に置かない
- 砂やホコリが入りやすい場所には置かない
- ラベルは正しい位置に貼る
- ラベルは一枚だけ貼る
- ラベルははがれないように貼る
- 聴かないときはケースに入れて保管する

シャッターを開けない



故障かな？ と思ったら

本機の調子が悪いときは、修理を依頼する前にもう一度、次のことをチェックしてみてください。それでも調子が悪いときは、お買い上げ店、またはお近くのサービス・ショップ、アルパイン・サービスセンターにご相談ください。

症 状		原 因	処 置
共 通 部	動作しない。 ディスプレイに何も表示 されない。	車のイグニッション・キーが OFF になっている。	車のイグニッション・キーを ON に する。
		本機の電源が入っていない。	本機の PWR を押して電源を入れ る。
		電源コードの接続が不完全。 ヒューズが切れている。	電源コードの接続を確実に 行う。 規定容量のヒューズと交換する。
	電源は入るが音が出ない。	音量レベルが最小になっている。	音量レベルを上げる。
ラ ジ オ 部	受信できない。	アンテナが接続されていない。 または伸びていない。	アンテナが確実に接続されているか 確認する。
	自動的に放送局を 選べない。	アンテナの長さが適切でない。	アンテナを十分に伸ばす。 破損している場合は、新しいものと 交換する。
	雑音が入る。	アンテナのアース線の接続が不 完全。	アンテナのアース線を確実に接続す る。
電波が弱く、雑音が多い。		雑音が少ないくなるまで、別の放送局 を受信する。	
M D 部	ミニディスクが入らな い。	すでに別のミニディスクが入っ ている	ミニディスクを取り出してから入れ 直す。
		ミニディスクの入れ方が間違っ ている。	本書を参照し、正しく入れる。
	振動で音が飛ぶ。	本機が正しく取り付けられてい ない。	正しく取り付け直す。
	振動がないのに音が飛 ぶ。 演奏が始まらない。	ディスク傷、ディスク汚れ。 録音状態が良くない。 未録音ディスク。 音楽用ディスクでない。 結露している。	ディスクを交換する。
ディスクを交換する。 しばらく放置してから使う。			

症 状		原 因	処 置
C D 部	演奏が始まらない。	車内温度が 50 以上ある。	車内温度を適温まで下げてから、演 奏させる。
	音が歪む。	プレーヤーの内部に水滴が付い ている。	完全に露がとれてから、(約 1 時間 後) 使う。
	早送り / 早戻しができな い。	ディスクに傷が付いている。	ディスクを取り替える。傷ついたデ ィスクを使い続けると、故障の原因 になります。
	振動で音がとぶ。	本機が正しく取り付けられていない。	正しく取り付け直す。
	振動がないのに音がと ぶ。	ディスクがひどく汚れている。 傷がついている。	ディスクをクリーニングする。 傷ついたディスクは取り替える。

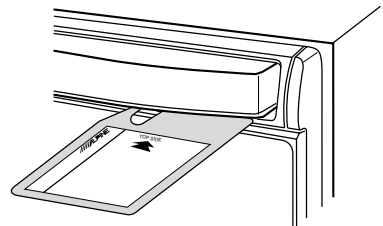
故障かな？ と思ったら

表 示	原 因	処 置
High-Temp	車内温度が高すぎる。	車内温度を適温まで下げる。
NO DISC	ディスクがローディングしていない。	ディスクを選択する。
No Magazine	マガジンがセットされていない。	マガジンをセットする。
ERROR (トレイが出た状態)	ディスクがマガジンに戻っていない。	1 イジェクト・スイッチを押す。 2 復旧しない... イジェクトカードを使いマガジンを取り出す。 3 それでも復旧しない... 1、2 を繰り返す。 4 それでも復旧しない... サービスショップへ。
	ディスクが重なっている。	
ERROR (トレイが引き込まれた状態)	バリなどディスクに問題がある。	1 イジェクト・スイッチを押す。 2 復旧しない... イジェクトカードを使いマガジンを取り出す。更に空のマガジンを挿入し、イジェクト・スイッチを押してディスクを回収する。 3 それでも復旧しない... 1、2 を繰り返す。 4 それでも復旧しない... サービスショップへ。
	ディスクがマガジンに戻っていない。	
	マガジンが正しくセットされていない。	

3D マガジン イジェクト方法

3D マガジンが正常にイジェクトされない場合は、トラブルを避けるため、下記の手順通りに実行してください。

1. 電源をオフにします。
2. イジェクト・カードをマガジンの直下右端に差し込みます。
マガジンがイジェクトされます。
3. イジェクトされたマガジンから、全てのディスクを取り出します。
4. 電源をオンにして空にしたマガジンを製品に挿入します。



イジェクト・カード



ディスクが製品内に残っている場合がありますので、必ず空にしたマガジンを挿入してください。

5. 製品のイジェクト・スイッチを押して、正常にイジェクトされることを確認します。

故障かな？ と思ったら

表 示		原 因	処 置
M D ヘ ッ ド ユ ニ ッ ト 部	NO DISC	ミニディスクが入っていない。	ミニディスクを入れる。
	ERROR	ディスク傷、ディスク汚れ。 録音状態が良くない。 未録音ディスク。 音楽用ディスクでない。	O/Cスイッチを押して、 ディスクを交換する。
		ディスクの方向が間違っている。	O/Cスイッチを押して、 正しい向きに入れ直す。
		結露している。	しばらく放置する。
	High-Temp	メカニズムエラー。	1 O/Cスイッチを押して、 ディスクを取り出す。 イジェクトできないときは サービスショップへ。 2 ディスクを取り出してもエ ラー表示が消えない場合は、 もう一度O/Cスイッチを押 す。何度押してもエラー表 示が消えない場合はサービ スショップへ。
	車内温度が高すぎる。	車内温度を適温まで下げる。	



Memo

「ERROR」表示時の処置

O/C（オープン/クローズ）スイッチを押してもディスクが取り出せない場合は、リセット・スイッチ（8ページ参照）を押してから再度O/Cスイッチを押してください。

それでも取り出せない時は、サービスショップへ。

故障かな？ と思ったら

	表 示	原 因	処 置
C D チ ェ ン ジ ャ ー 部 (オ プ シ ヨ ン)	High-Temp	車内温度が高すぎる。	車内温度を適温まで下げる。
	NO DISC	ディスクが入っていない。	ディスクを入れる。
	No Magazine	マガジンがCDチェンジャーにセットされていない。	マガジンをCDチェンジャーにセットする。
	ERROR	ディスクがマガジンに戻っていない。 メカニズムエラー。	1 イジェクト・スイッチを押す。 2 空のマガジンを入れ、もう一度イジェクト・スイッチを押しディスクを回収する。 1 イジェクト・スイッチを押す。 2 表示が消えたら、ディスクを入れ直したマガジンを再度挿入する。 3 それでも復旧しない... サービスショップへ。

規 格

< チューナー部 >

受信周波数	AM ; 522 ~ 1,629kHz, FM ; 76.0 ~ 90.0MHz
実用感度	AM ; 22.5 μ V, FM;0.8 μ V (75) ;9.3dBf(新IHF)
ステレオ・セパレーション	FM ; 35dB 以上
SN 比	FM ; 65dB 以上
周波数特性	FM ; 30 ~ 15,000Hz
イメージ妨害比	FM ; 80dB 以上
IF 妨害比	FM ; 80dB 以上

< CD 部 >

方式	光学式 (コンパクト・ディスク方式)
量子化ビット数	1 ビット
チャンネル数	2 チャンネル (ステレオ)
周波数特性	5Hz ~ 20kHz (\pm 1dB)
ダイナミック・レンジ	93dB (1kHz) 以上
SN 比	95dB (1kHz) 以上
高調波歪率	0.01% (1kHz) 以下
チャンネル・セパレーション	86dB (1kHz) 以上
ワウフラッター	測定限界以下

< MD 部 >

SN 比	90dB
全高調波歪率	0.01%以下 (1kHz)
チャンネル・セパレーション	85dB 以上
ワウフラッター	測定限界以下

< イコライザー部 >

バンド数	7
イコライザー周波数	63Hz/160Hz/400Hz/1kHz/2.5kHz/6.3kHz/16kHz (各 \pm 10dB)

< リモコン部 >

使用電源	DC1.5V \times 2 (UM-4)
外形寸法	56 (幅) \times 14 (高さ) \times 105 (奥行)mm
重量	50g(電池は含まれない)

< 一般 >

使用電源DC14.4V(動作範囲; 11 ~ 16V)
 アース方式d アース
 外形寸法178(幅)× 100(高さ)× 156(奥行)mm
 重量3 kg
 付属品 :

品 名	数 量
取付用部品類	1 式
電源コード	1
リモコン	1
電池(単4)	2
取扱説明書・保証書類	1 式
イジェクト・カード	1
CD マガジン、CD アダプター	各 1

製品の規格および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

保証書について

この製品には保証書が添付されています。お買上げの際、お受け取りください。
 必ず「販売店印・お買い上げ日」を確認し、よくお読みのうえ、大切に保管してください。

アフターサービスについて

調子が悪いときまず、この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
 それでも調子が悪い時保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
 お買い上げ店、または添付の“サービス・ショップのご案内”にあるお近くのサービス・ショップに、修理を依頼してください。
 保証期間中の修理保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。
 保証期間経過後の修理修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。
 補修用性能部品製造打切り後、最低 6 年間保有しています。
 アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点はお買い上げ店またはサービス・ショップ、アルパイン・サービスセンターなどにお問い合わせください。

正しい取り付け
正しい操作で
安全運転

仕様及び外観は、改良の為に予告なく変更する場合があります。また、この説明書の中のイラストと製品が一部異なる場合があります。
本製品は国内専用です。

ALPINE®

アルパイン株式会社

〒141-8501 東京都品川区西五反田1丁目1番8号

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

TEL: 03-3779-0711 FAX: 03-3494-1767

電話は混雑が予想されます。問い合わせは、なるべく書面(FAXまたはハガキ等)をご利用ください。FAXは、24時間受付けております。

Designed by ALPINE Japan Printed in Japan (S) 68P11199Y43-O